

## 第4回 麻しん対策推進会議議事次第

日 時：平成21年9月9日（水）10:00～12:00

場 所：厚生労働省専用第21会議室（中央合同庁舎5号館17階）

### I 開 会

### II 議 題

- 1 平成20年及び平成21年の麻しんの発生状況について
- 2 予防接種率調査等について
  - (1) 平成20年度麻しん風しん第1期・第2期・第3期・第4期予防接種率等全国調査結果
  - (2) 平成20年度 都道府県における麻疹対策の取り組み状況
  - (3) 地方衛生研究所での検査体制について
- 3 自治体および医師会における取り組みについて
  - (1) 2008年度を総括した都道府県の活動評価
  - (2) 自治体の取り組み（山形県、倉敷市）
  - (3) 医師会の取り組み（松戸市医師会、富田林市医師会）
- 4 学校における取り組みについて
  - (1) 厚生労働省からの報告事項
  - (2) 文部科学省からの報告事項
  - (3) 麻しん施設別発生状況（学校欠席者数）
- 5 成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究
- 6 その他事項
- 7 自由討議

### III 閉 会

## 【 資 料 一 覧 】

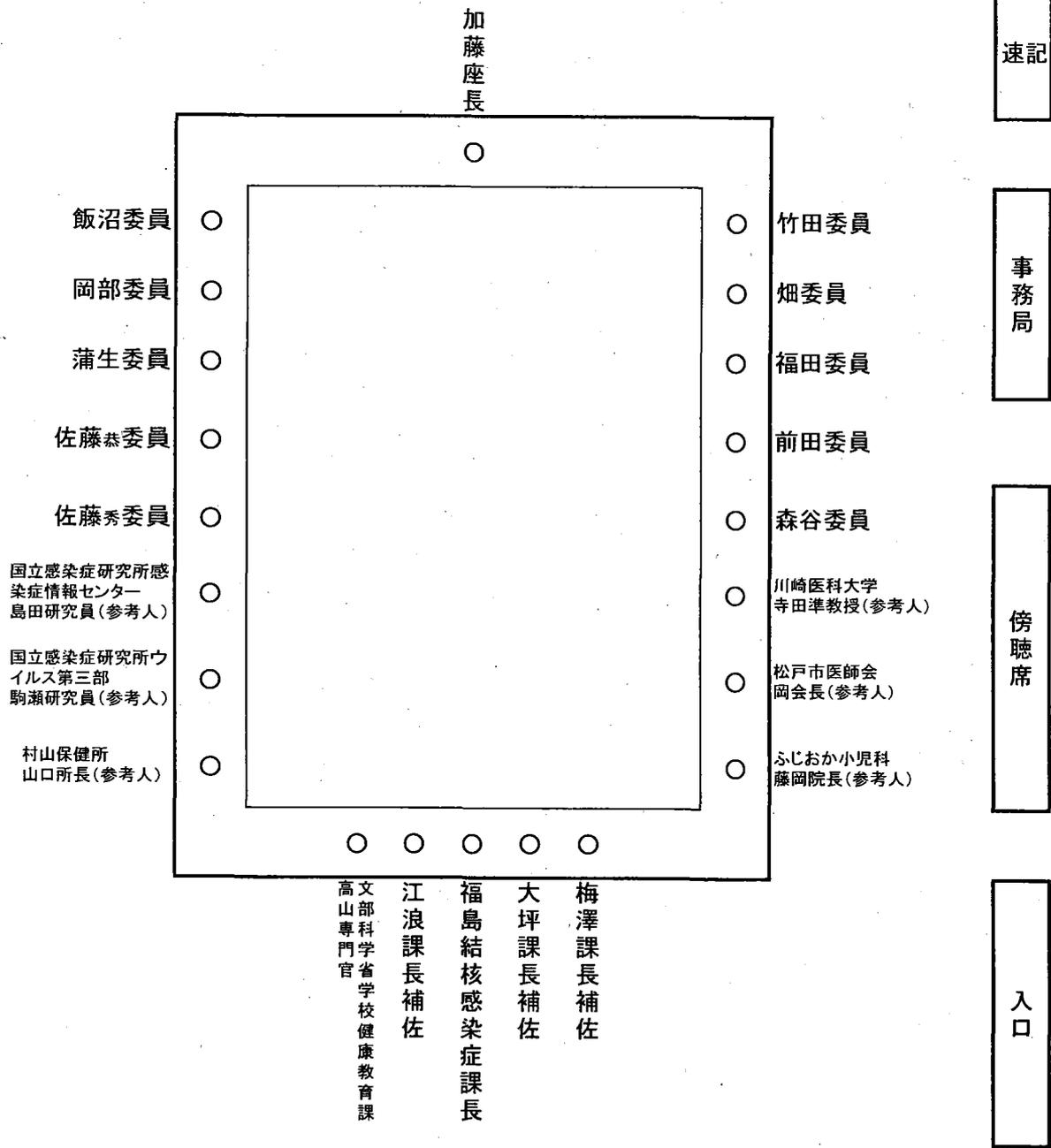
- 1 麻しん対策推進会議名簿
- 2 麻しんの発生状況
- 3 都道府県別麻しん風しんワクチン接種率 2008 年度集計結果 接種対象群別結果一覧
- 4 2008 年度 都道府県における麻疹対策取り組み状況評価 第2回チェックリスト集計結果
- 5 地方衛生研究所における検査体制
- 6 2008 年度における各自治体の麻しん対策取り組み事例
- 7 平成20年度MR4期接種率向上に向けた山形県の取り組み
- 8 倉敷市および岡山県におけるMRワクチン接種率向上への取り組み
- 9 MRワクチン接種率向上への取り組み（松戸市医師会）
- 10 大阪府富田林市における麻しんワクチン接種率向上への取り組み
- 11 麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（都道府県衛生主管部局長宛、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長宛）
- 12-1 麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（依頼）
- 12-2 平成21年度健康教育行担当者連絡協議会開催要項
- 13 麻しん施設別発生状況（最終報 全施設別合計：2009年）
- 14-1 成人感染が問題となりつつある小児感染症への対応に関する研究（平成21年度厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）
- 14-2 麻疹・風疹（MR）混合ワクチンの接種率効果・安全性・接種率に関する研究（平成18年～平成20年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業）

# 第4回麻しん対策推進会議 座席表

厚生労働省専用第21会議室(17階)

平成 21 年 9 月 9 日(水)

10:00 ~ 12:00



## 麻しん対策推進会議名簿

- |           |          |                |         |                                 |
|-----------|----------|----------------|---------|---------------------------------|
| いい<br>飯   | ぬま<br>沼  | まさ<br>雅        | お<br>朗  | 社団法人日本医師会常任理事                   |
| え<br>衛    | とう<br>藤  | たかし<br>隆       |         | 東京大学大学院教育学研究科教授                 |
| ○ おか<br>岡 | べ<br>部   | のぶ<br>信        | ひこ<br>彦 | 国立感染症研究所感染症情報センター長              |
| かたら<br>荊  | お<br>尾   | れい<br>玲        | こ<br>子  | 島根県奥出雲町立三沢小学校教頭                 |
| ◎ か<br>加  | とう<br>藤  | たつ<br>達        | お<br>夫  | 国立成育医療センター総長                    |
| がも<br>蒲   | う<br>生   | ま<br>真         | み<br>実  | こっこくらぶ編集長                       |
| きん<br>金   | じょう<br>城 | あや<br>綾        | の<br>乃  | Kiroro (ビクターミュージックアーツ)          |
| たま<br>玉   | しろ<br>城  | ち<br>千         | はる<br>春 | Kiroro (ビクターミュージックアーツ)          |
| さ<br>佐    | とう<br>藤  | しゅういちろう<br>秀一郎 |         | 武田薬品株式会社医薬営業本部グループマネージャー        |
| さ<br>佐    | とう<br>藤  | やす<br>恭        | のぶ<br>信 | 江戸川区保健所長                        |
| たけ<br>竹   | だ<br>田   | まこと<br>誠       |         | 国立感染症研究所ウイルス第三部長                |
| てら<br>寺   | しま<br>島  | こういちろう<br>光一郎  |         | 北海道乙部町長                         |
| はた<br>畑   |          | しゅう<br>秀       | じ<br>二  | SSPE 青空の会副会長 (亜急性硬化性全脳炎 患者と親の会) |
| ふく<br>福   | だ<br>田   | ひと<br>仁        | し<br>史  | 財団法人阪大微生物病研究会東京事務所長             |
| まえ<br>前   | だ<br>田   | ひで<br>秀        | お<br>雄  | 東京都福祉保健局感染症危機管理担当部長             |
| もり<br>森   | や<br>谷   | かず<br>一        | お<br>夫  | 東京都公立高等学校PTA連合会会長               |

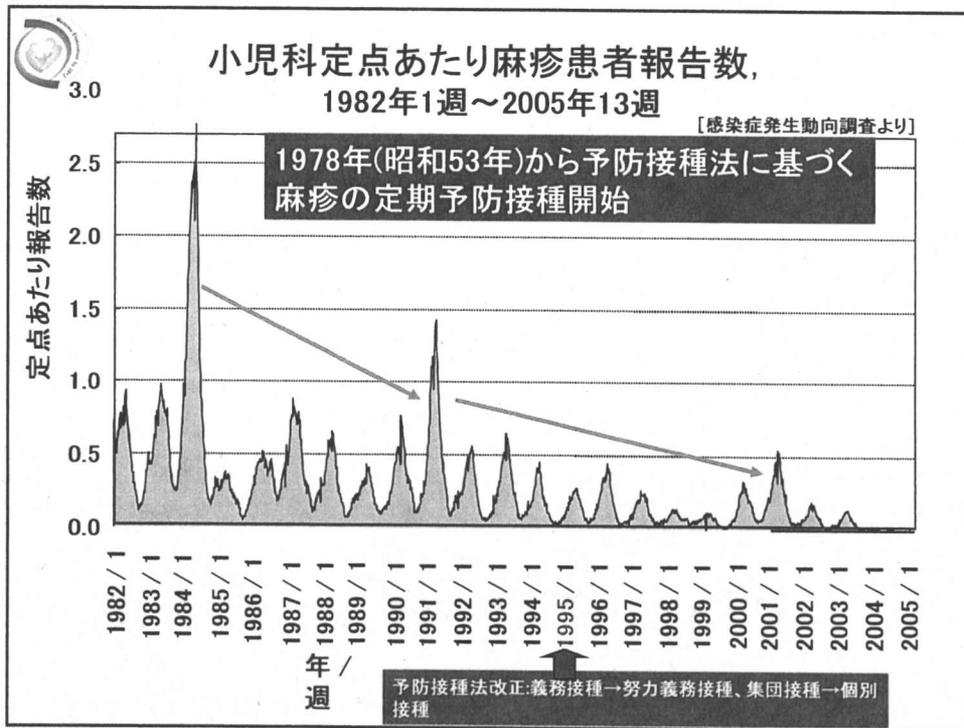
◎ : 座長、○ : 座長代理



第3回麻疹対策推進会議  
平成21年9月9日(水)

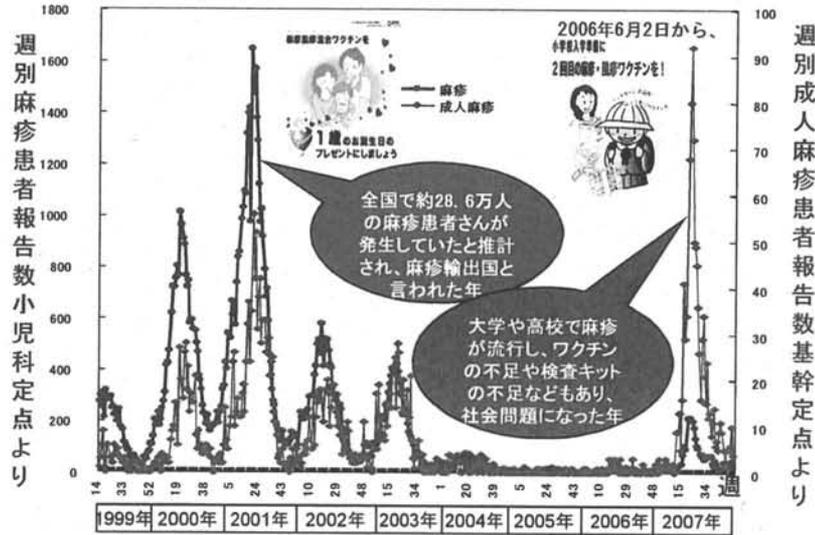
# 麻疹の発生状況

国立感染症研究所・麻疹対策技術支援チーム



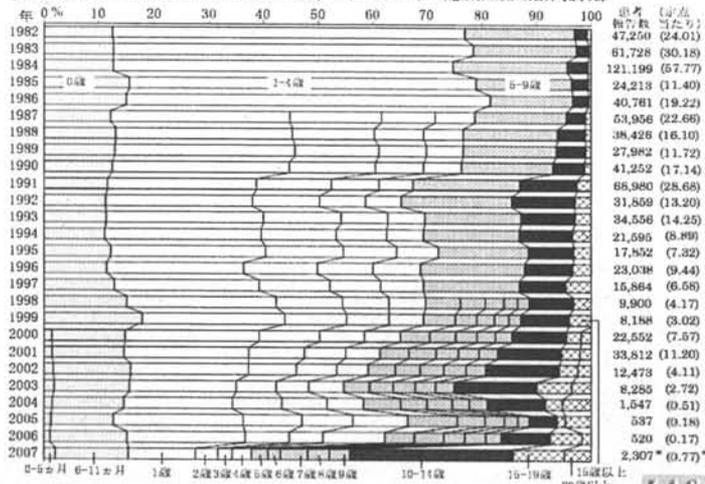
## 麻疹/成人麻疹患者報告数, 1999年14週～2007年52週

(感染症発生動向調査より)



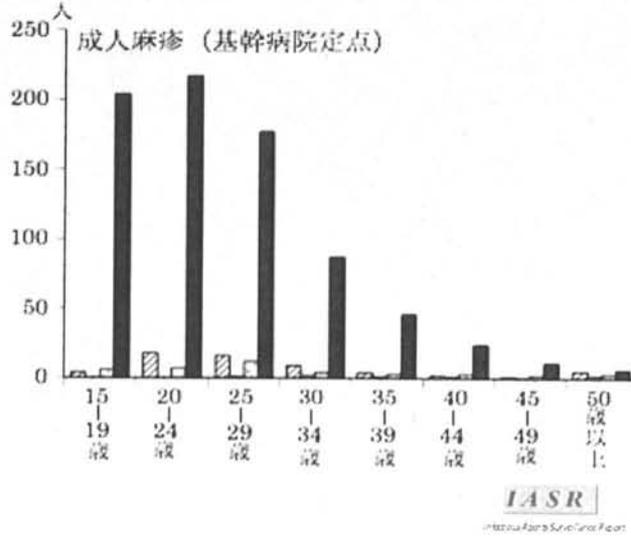
## 小児科定点から報告された麻疹患者年齢分布 1982年～2007年

図4. 麻疹患者の年齢分布(小児科定点), 1982-2007年 (感染症発生動向調査)

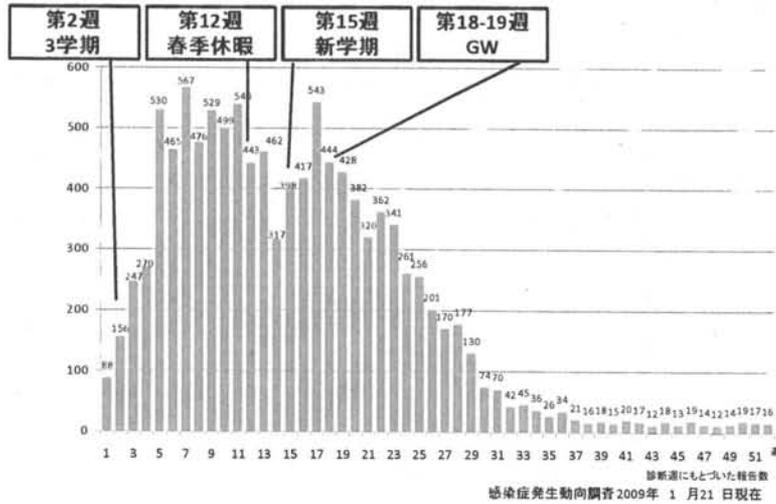




### 成人麻疹患者の年齢別報告数、2004-2007年 (感染症発生動向調査)



### 週別麻疹報告数 (n=11,007) 2008年第1-52週



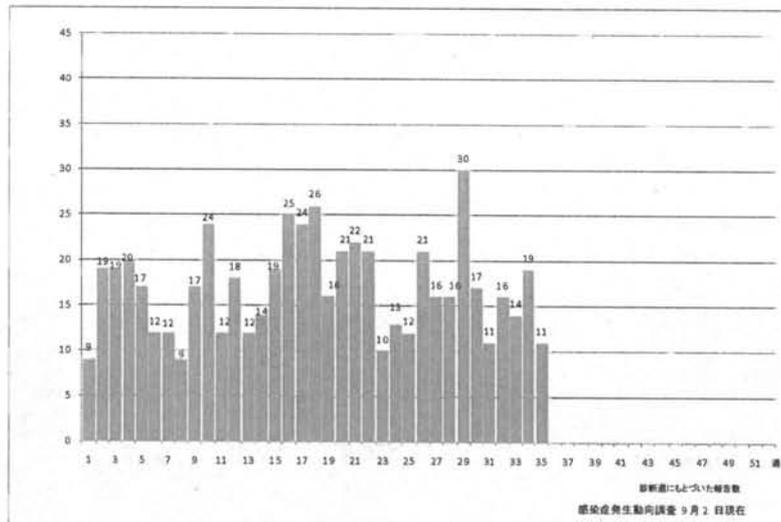


## 脳炎合併症の報告があった麻しん症例 (n=9) 2008年第1-52週

診断週	感染地域	報告自治体	性別	年齢	病型	接種歴	転帰	
1	第4週	北海道	北海道	女	10代	臨床診断例	無	軽快
2	第4週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	無	軽快
3	第5週	神奈川県	神奈川県	男	30代	臨床診断例	無	軽快
4	第9週	北海道	北海道	女	20代	検査診断例	無	
5	第16週	千葉県	東京都	女	40代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	
6	第26週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	1回 (1歳時、親の記憶)	高次脳機能障害
7	第29週	神奈川県	神奈川県	男	10代	検査診断例	無	
8	第31週	東京都	東京都	男	40代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	
9	第44週	千葉県	千葉県	女	30代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	

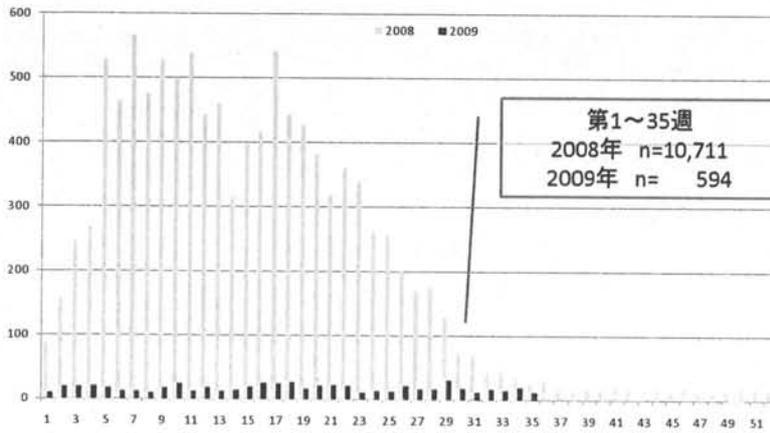


## 週別麻しん累積報告数 2009年第1-35週 (n=594)

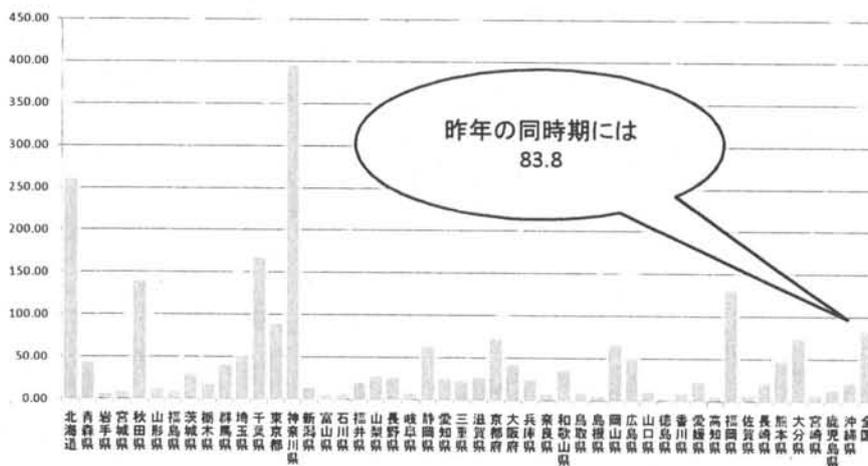




## 週別麻しん報告数の比較 2008、2009年

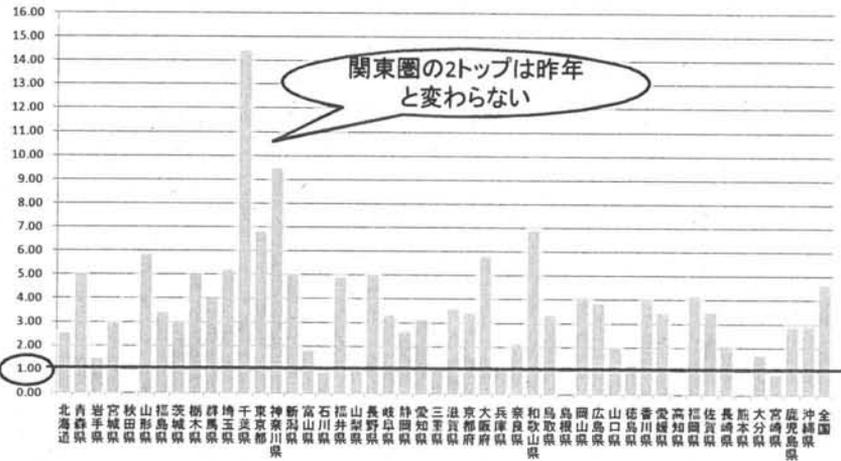


## 都道府県別人口百万対麻しん報告数 2008年第1-35週

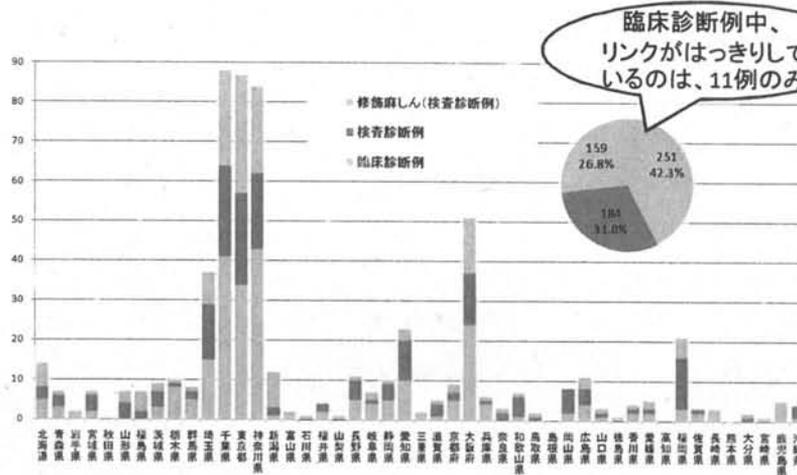




## 都道府県別人口百万対麻しん報告数 2009年第1-35週



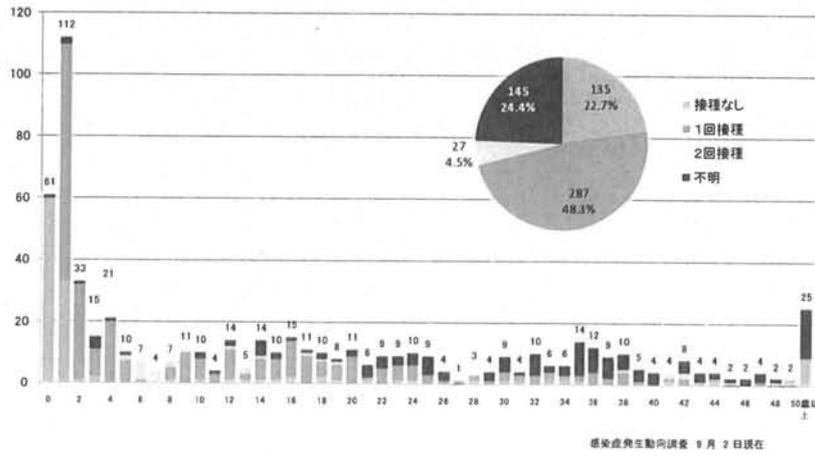
## 都道府県別病型別麻しん報告数 2009年第1-35週(n=594)



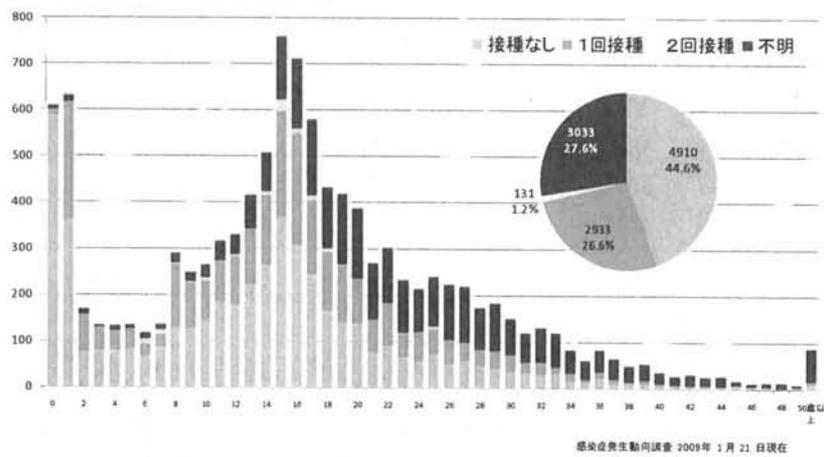
感染症発生動向調査 9月2日現在



### 年齢別接種歴別麻疹累積報告数(n=594) 2009年第1-35週



### 年齢別接種歴別麻疹累積報告数(n=11,007) 2008年第1-52週



## まとめ

- 日本の麻疹発生状況は、麻疹の定期予防接種が導入されて以後は、減少傾向にあった。
- 以前は乳幼児を中心とした流行だったが、2007年は10代後半から20代を中心とする年代で、大きな流行を認めた。
- 全数報告となった2008年には年間で、11,007例が報告されたが、今年（2009年）は35週現在594例と大幅に減少している。
- 年齢別報告数を昨年と比較すると、今年（2009年）は10代を中心とした年代の割合が激減した。
- 今年のような発生状況では、臨床症状のみから麻疹と診断することはしばしば困難である。現在、全国の衛研で麻疹のPCR検査を行える体制が整っているため、保健所、衛研の協力の下、検査診断で全例を確実に診断することが望まれる。

表 I-1. 2008年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年9月4日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は、2008年10月1日現在の1歳児の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度  
第1期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	三重県	16,179	15,932	8	7	98.5	98.5
2	沖縄県	15,796	15,452	7	5	97.9	97.9
3	岐阜県	17,702	17,166	3	9	97.0	97.0
	福井県	7,224	7,004	0	1	97.0	97.0
5	山口県	11,708	11,324	0	3	96.7	96.7
6	宮城県	19,551	18,880	4	7	96.6	96.6
	佐賀県	7,635	7,371	3	1	96.6	96.6
8	新潟県	18,606	17,925	10	17	96.4	96.4
9	徳島県	6,032	5,797	2	0	96.1	96.1
10	愛知県	71,847	68,785	48	19	95.8	95.8
11	東京都	103,150	98,701	63	123	95.7	95.8
12	岩手県	10,273	9,807	2	1	95.5	95.5
	北海道	41,502	39,517	10	38	95.2	95.3
	宮崎県	10,302	9,808	0	0	95.2	95.2
	鳥取県	4,998	4,756	1	2	95.2	95.2
16	愛媛県	11,858	11,277	5	2	95.1	95.1
17	千葉県	53,523	50,761	14	55	94.9	94.9
18	岡山県	17,102	16,194	17	20	94.8	94.8
19	京都府	21,562	20,402	21	18	94.7	94.7
20	青森県	10,148	9,563	2	3	94.3	94.3
21	大阪府	77,096	72,470	64	66	94.1	94.1
	静岡県	34,246	32,189	26	38	94.1	94.1
23	兵庫県	49,155	46,189	4	11	94.0	94.0
24	群馬県	17,517	16,421	28	3	93.9	93.8
	石川県	10,383	9,747	1	4	93.9	93.9
26	長野県	18,835	17,664	6	4	93.8	93.8
	山梨県	7,483	7,015	4	2	93.8	93.8
28	栃木県	17,401	16,308	3	5	93.7	93.7
29	神奈川県	80,606	75,416	69	156	93.6	93.8
	島根県	5,917	5,538	0	1	93.6	93.6
31	鹿児島県	15,000	14,013	5	7	93.5	93.5
32	大分県	10,112	9,444	2	5	93.4	93.4
	高知県	5,780	5,398	1	1	93.4	93.4
	富山県	8,799	8,214	1	3	93.4	93.4
35	埼玉県	62,630	58,367	29	62	93.2	93.3
36	和歌山県	7,782	7,239	1	1	93.0	93.0
37	香川県	8,736	8,119	1	1	92.9	92.9
38	福島県	17,120	15,887	3	5	92.8	92.8
39	奈良県	11,553	10,682	4	3	92.5	92.5
	福岡県	46,226	42,737	16	45	92.5	92.5
41	広島県	26,091	24,085	7	13	92.3	92.4
42	長崎県	12,197	11,222	0	0	92.0	92.0
43	茨城県	25,243	23,155	0	7	91.7	91.8
44	山形県	9,420	8,589	1	2	91.2	91.2
45	熊本県	16,004	14,507	7	5	90.7	90.7
46	滋賀県	14,126	12,586	7	3	89.1	89.1
47	秋田県	7,540	6,648	1	12	88.2	88.3
	全国	1,099,696	1,036,271	511	796	94.3	94.3

2008年度

# 第1期麻しん風しんワクチン接種率

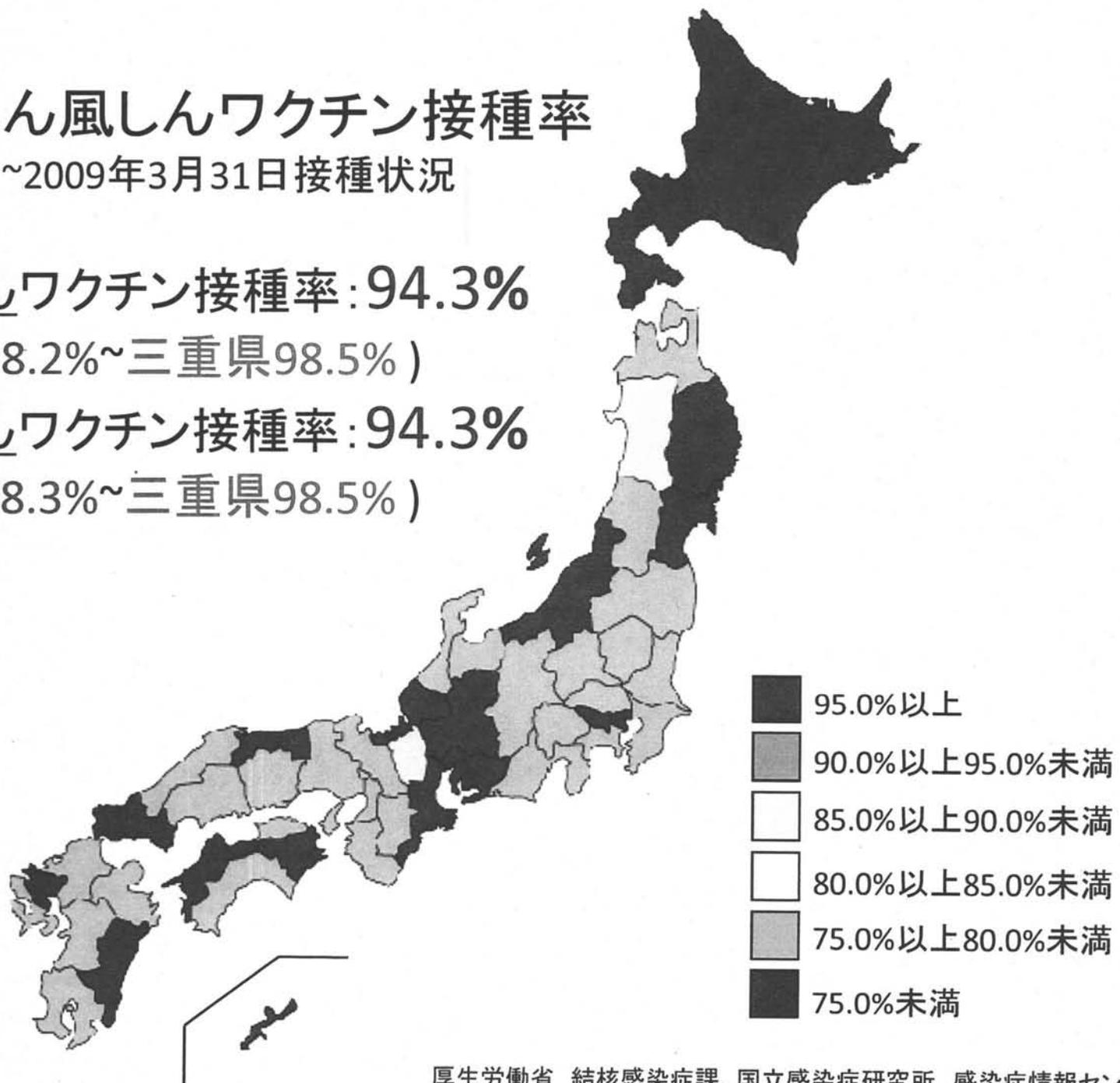
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第1期 麻しんワクチン接種率:94.3%

(秋田県88.2%~三重県98.5%)

第1期 風しんワクチン接種率:94.3%

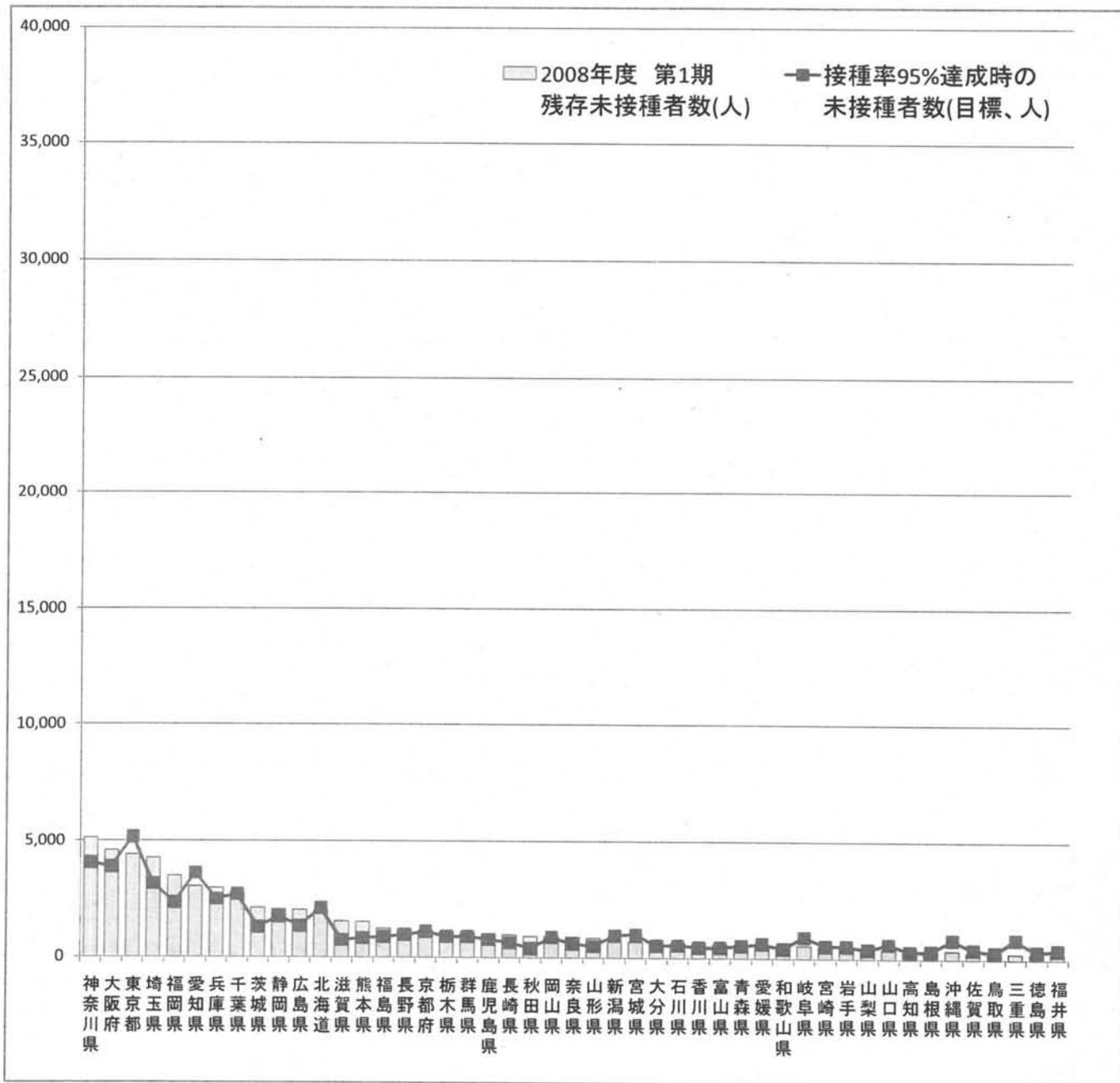
(秋田県88.3%~三重県98.5%)



2

表 I-2. 2008年度麻疹ワクチン第1期接種対象者残存未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

順位	都道府県	2008年度 第1期 残存未接種者数(人)	接種率95%達成時の 未接種者数(目標、人)
1	神奈川県	5,121	4,030
2	大阪府	4,562	3,855
3	東京都	4,386	5,158
4	埼玉県	4,234	3,132
5	福岡県	3,473	2,311
6	愛知県	3,014	3,592
7	兵庫県	2,962	2,458
8	千葉県	2,748	2,676
9	茨城県	2,088	1,262
10	静岡県	2,031	1,712
11	広島県	1,999	1,305
12	北海道	1,975	2,075
13	滋賀県	1,533	706
14	熊本県	1,490	800
15	福島県	1,230	856
16	長野県	1,165	942
17	京都府	1,139	1,078
18	栃木県	1,090	870
19	群馬県	1,068	876
20	鹿児島県	982	750
21	長崎県	975	610
22	秋田県	891	377
24	奈良県	867	578
25	山形県	830	471
26	新潟県	671	930
27	宮城県	667	978
28	大分県	666	506
29	石川県	635	519
30	香川県	616	437
31	富山県	584	440
32	青森県	583	507
33	愛媛県	576	593
34	和歌山県	542	389
35	岐阜県	533	885
36	宮崎県	494	515
37	岩手県	464	514
39	山梨県	464	374
40	山口県	384	585
41	高知県	381	289
42	島根県	379	296
43	沖縄県	337	790
44	佐賀県	261	382
45	鳥取県	241	250
46	三重県	239	809
47	徳島県	233	302
	福井県	220	361
	全国	62,914	54,985



3

表Ⅱ-1. 2008年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度  
第2期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/① ×100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/① ×100
1	秋田県	8360	8133	0	3	97.3	97.3
2	佐賀県	8034	7733	1	1	96.3	96.3
3	福井県	7688	7381	1	4	96.0	96.1
4	新潟県	20131	19237	7	16	95.6	95.6
5	富山県	9805	9361	1	4	95.5	95.5
6	鳥取県	5301	5048	2	3	95.3	95.3
7	山形県	10359	9862	0	0	95.2	95.2
8	岩手県	11,628	11,053	4	1	95.1	95.1
9	愛媛県	12568	11934	8	8	95.0	95.0
10	石川県	10749	10184	2	2	94.8	94.8
11	青森県	12122	11441	0	4	94.4	94.4
12	三重県	17753	16734	2	3	94.3	94.3
13	岡山県	18449	17358	25	20	94.2	94.2
14	島根県	6307	5923	1	2	93.9	93.9
	茨城県	27468	25798	0	0	93.9	93.9
16	兵庫県	52323	48996	24	25	93.7	93.7
17	群馬県	19128	17873	14	3	93.5	93.5
18	徳島県	6769	6310	1	2	93.2	93.2
	香川県	9490	8843	0	5	93.2	93.2
20	長野県	20584	19162	1	11	93.1	93.1
21	京都府	22562	20924	17	12	92.8	92.8
	熊本県	16793	15582	3	4	92.8	92.8
23	宮城県	21,009	19,464	1	45	92.8	92.9
24	長崎県	13392	12398	4	5	92.7	92.6
25	愛知県	72737	67233	62	20	92.5	92.5
	福島県	19054	17614	10	25	92.5	92.6
	千葉県	56149	51902	14	52	92.5	92.5
28	北海道	45251	41743	20	29	92.3	92.3
29	滋賀県	14709	13563	5	9	92.2	92.3
30	山梨県	7960	7333	1	2	92.1	92.1
	埼玉県	65649	60444	9	66	92.1	92.2
	和歌山県	8929	8219	2	1	92.1	92.1
33	福岡県	46107	42331	14	18	91.8	91.8
	静岡県	35701	32776	6	17	91.8	91.9
35	大分県	10492	9590	8	18	91.5	91.6
	宮崎県	10717	9802	1	4	91.5	91.5
	山口県	12721	11630	4	1	91.5	91.4
38	岐阜県	20501	18711	3	4	91.3	91.3
39	栃木県	18758	17112	2	8	91.2	91.3
40	奈良県	12610	11494	0	2	91.1	91.2
41	広島県	26,288	23,797	11	3	90.6	90.5
42	神奈川県	81563	73392	63	95	90.1	90.1
43	高知県	6377	5733	2	0	89.9	89.9
44	大阪府	81316	72163	52	44	88.8	88.8
	鹿児島県	15795	14019	4	10	88.8	88.8
46	東京都	100734	88869	50	115	88.3	88.3
47	沖縄県	16589	14611	3	15	88.1	88.2
	全国	1155479	1060813	465	741	91.8	91.9

2008年度

## 第2期麻しん風しんワクチン接種率

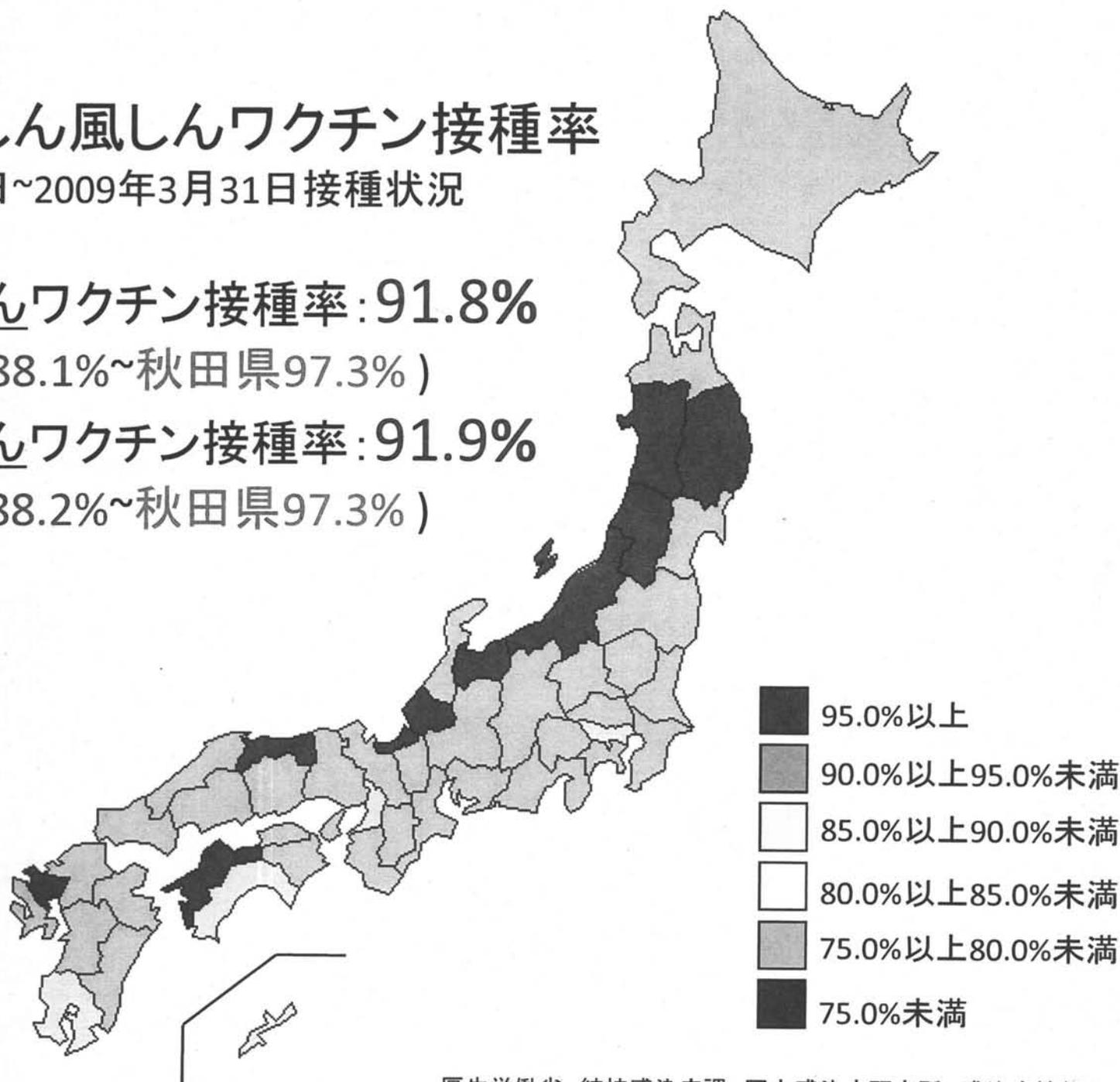
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第2期 麻しんワクチン接種率:91.8%

(沖縄県88.1%~秋田県97.3%)

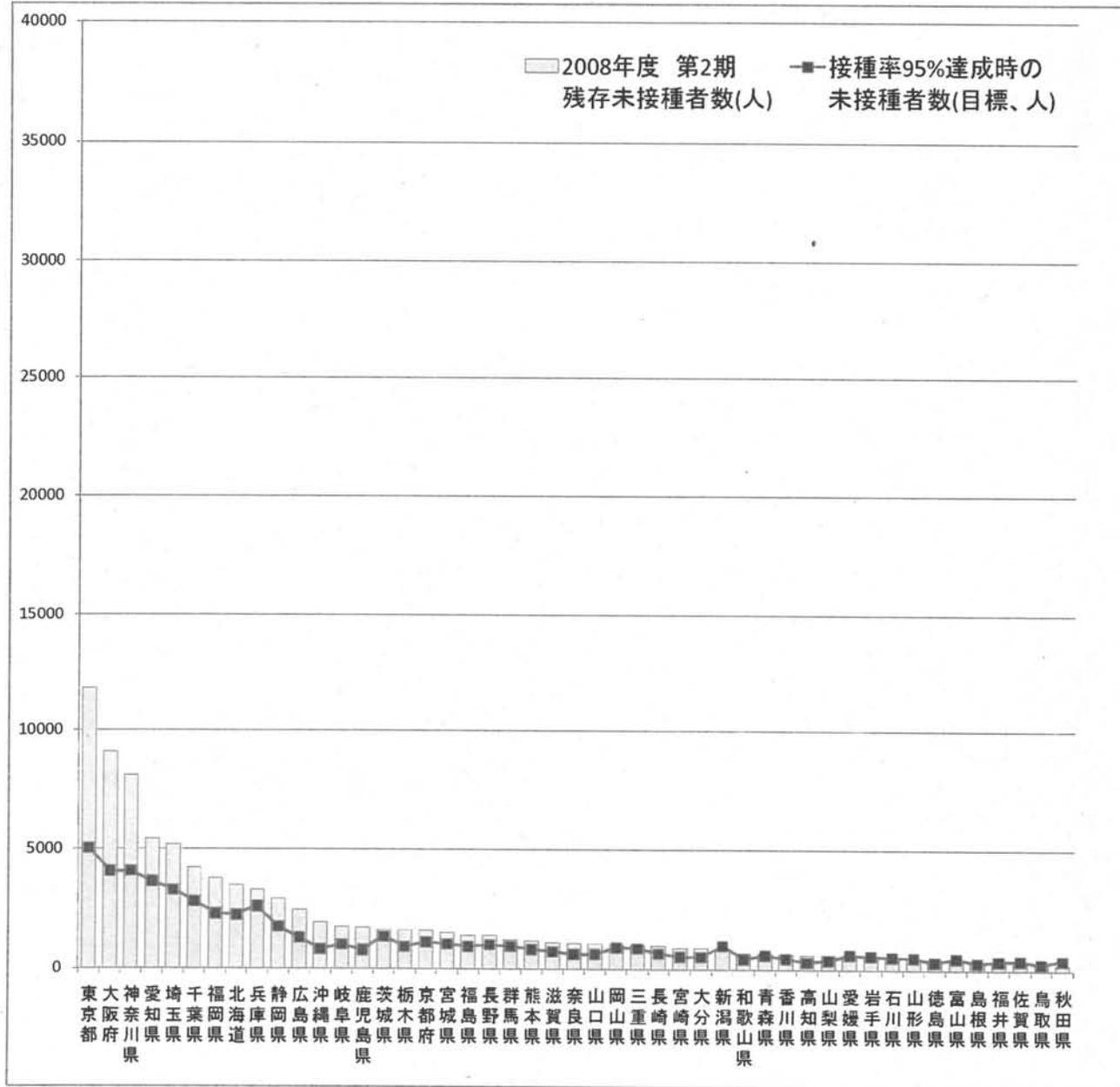
第2期 風しんワクチン接種率:91.9%

(沖縄県88.2%~秋田県97.3%)



表Ⅱ-3. 2008年度麻疹ワクチン第2期接種対象者残存未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

順位	都道府県	2008年度 第2期 残存未接種者数(人)	接種率95%達成時の 未接種者数(目標、人)
1	東京都	11815	5037
2	大阪府	9101	4066
3	神奈川県	8108	4078
4	愛知県	5442	3637
5	埼玉県	5196	3282
6	千葉県	4233	2807
7	福岡県	3762	2305
8	北海道	3488	2263
9	兵庫県	3303	2616
10	静岡県	2919	1785
11	広島県	2480	1314
12	沖縄県	1975	829
13	岐阜県	1787	1025
14	鹿児島県	1772	790
15	茨城県	1670	1373
16	栃木県	1644	938
17	京都府	1621	1128
18	宮城県	1544	1050
19	福島県	1430	953
20	長野県	1421	1029
21	群馬県	1241	956
22	熊本県	1208	840
23	滋賀県	1141	735
24	奈良県	1116	631
25	山口県	1087	636
26	岡山県	1066	922
27	三重県	1017	888
28	長崎県	990	670
29	宮崎県	914	536
30	大分県	894	525
31	新潟県	887	1007
32	和歌山県	708	446
33	青森県	681	606
34	香川県	647	475
35	高知県	642	319
36	山梨県	626	398
37	愛媛県	626	628
38	岩手県	571	581
39	石川県	563	537
40	山形県	497	518
41	徳島県	458	338
42	富山県	443	490
43	島根県	383	315
44	福井県	306	384
45	佐賀県	300	402
46	鳥取県	251	265
47	秋田県	227	418
	全国	94201	57774



表Ⅲ-1. 2008年度 第3期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度  
第3期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	福井県	8284	7902	9	6	95.5	95.5
2	富山県	10167	9687	0	24	95.3	95.5
3	茨城県	28725	27314	0	0	95.1	95.1
4	秋田県	10105	9583	3	10	94.9	94.9
5	新潟県	22689	21362	10	19	94.2	94.2
6	山形県	11451	10729	2	4	93.7	93.7
7	長野県	21558	20179	10	41	93.6	93.8
8	栃木県	19237	17829	4	8	92.7	92.7
9	石川県	11207	10366	3	3	92.5	92.5
10	佐賀県	9185	8469	5	3	92.3	92.2
11	鳥取県	5654	5197	3	3	92.0	92.0
12	島根県	6915	6339	4	3	91.7	91.7
14	熊本県	17970	16476	4	15	91.7	91.8
15	青森県	14135	12873	8	14	91.1	91.2
17	香川県	9230	8374	7	19	90.8	90.9
17	群馬県	19948	18070	37	26	90.8	90.7
17	和歌山県	9977	9041	3	7	90.6	90.7
19	愛媛県	13691	12383	17	41	90.6	90.7
20	千葉県	55374	49838	35	101	90.1	90.2
20	徳島県	7428	6681	3	11	90.0	90.1
21	長崎県	14759	13259	15	3	89.9	89.9
22	静岡県	35896	32061	20	23	89.4	89.4
23	岩手県	13,231	11,814	2	2	89.3	89.3
23	岡山県	18598	16560	47	41	89.3	89.3
25	宮城県	22,012	19,567	4	14	88.9	89.0
25	山口県	13447	11936	13	15	88.9	88.9
27	宮崎県	11838	10461	5	14	88.4	88.5
28	岐阜県	21198	18712	10	40	88.3	88.5
29	京都府	22846	19892	46	59	87.3	87.3
30	福島県	21079	18320	3	28	86.9	87.0
31	埼玉県	67234	57811	44	104	86.1	86.1
32	三重県	18338	15773	1	9	86.0	86.1
33	山梨県	9065	7775	7	7	85.8	85.8
34	大分県	11247	9601	34	18	85.7	85.5
35	滋賀県	14196	12103	18	27	85.4	85.4
36	兵庫県	53630	45549	57	61	85.0	85.0
37	奈良県	13626	11509	6	14	84.5	84.6
38	沖縄県	17038	14355	1	5	84.3	84.3
39	愛知県	71385	60100	24	65	84.2	84.3
40	鹿児島県	17009	14127	7	5	83.1	83.1
41	高知県	7126	5866	2	2	82.3	82.3
42	北海道	49140	40274	29	72	82.0	82.1
43	広島県	27,305	22,081	42	14	81.0	80.9
44	神奈川県	80830	62812	103	132	77.8	77.9
45	大阪府	81833	62951	237	175	77.2	77.1
46	東京都	97759	74023	51	191	75.8	75.9
47	福岡県	48017	36339	23	43	75.7	75.8
	全国	1192612	1014323	1018	1541	85.1	85.2

2008年度

# 第3期麻しん風しんワクチン接種率

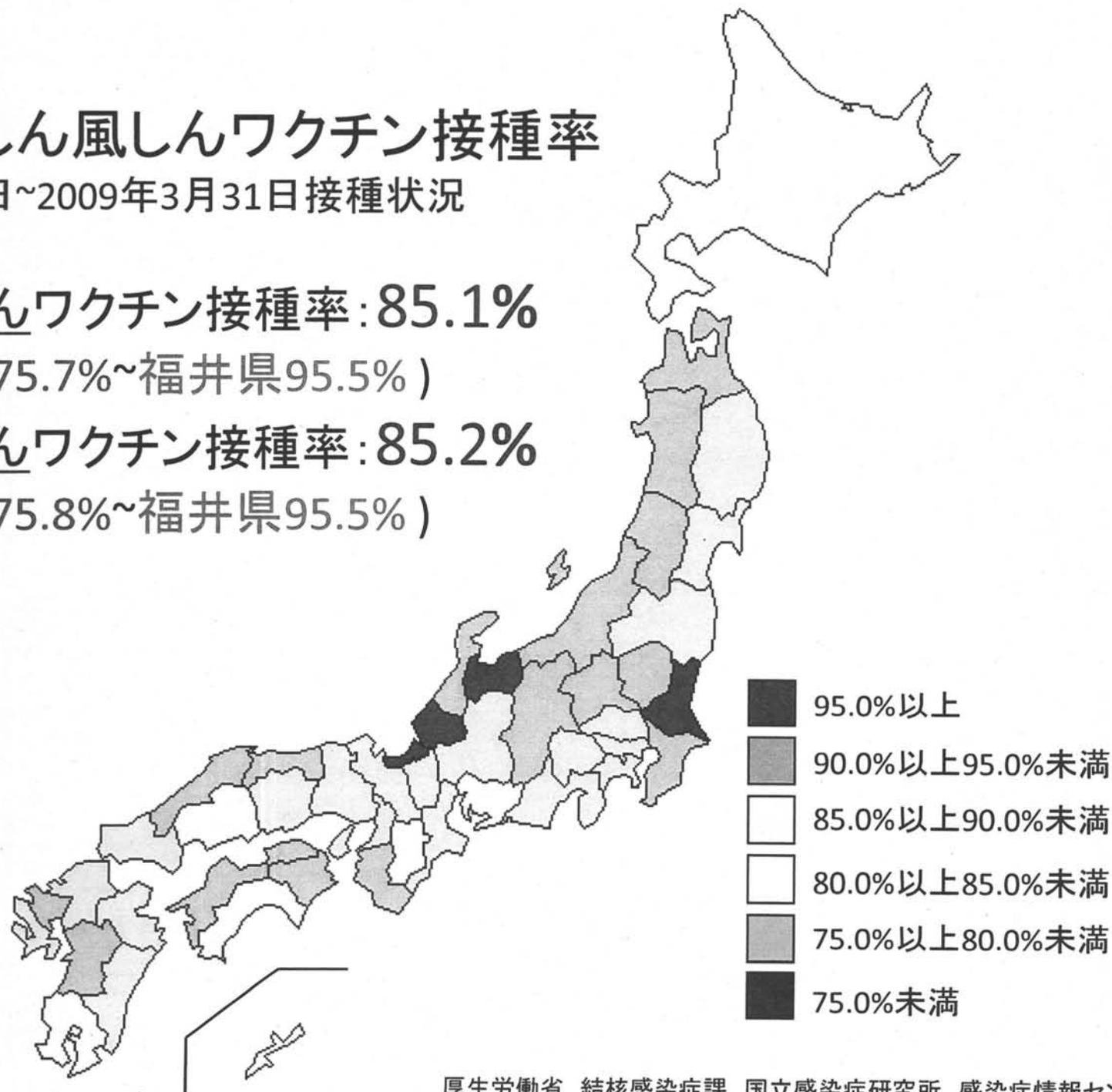
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第3期 麻しんワクチン接種率:85.1%

(福岡県75.7%~福井県95.5%)

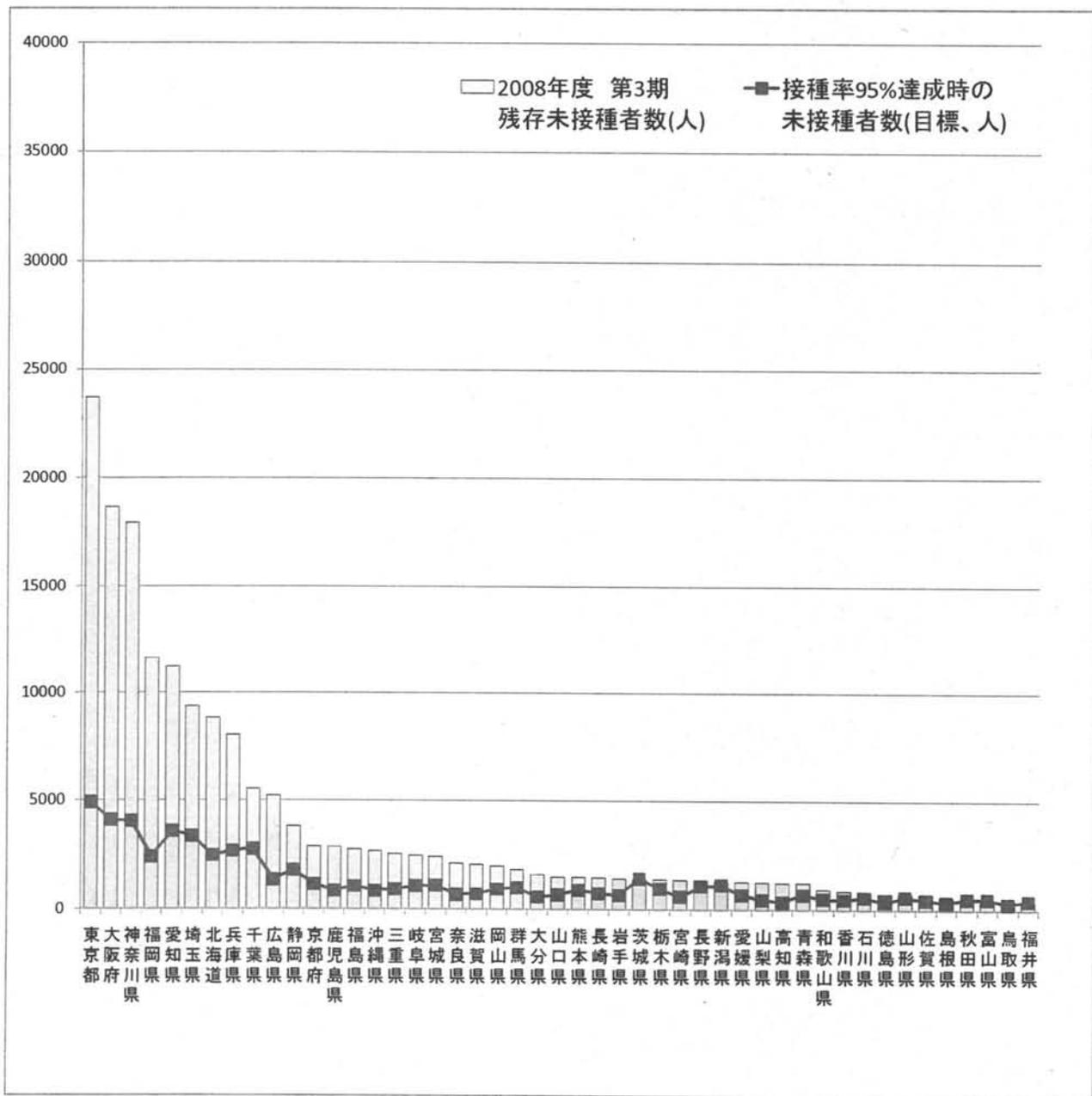
第3期 風しんワクチン接種率:85.2%

(福岡県75.8%~福井県95.5%)



表Ⅲ-3. 2008年度麻疹ワクチン第3期接種対象者残存未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

順位	都道府県	2008年度 第3期 残存未接種者数(人)	接種率95%達成時の 未接種者数(目標、人)
1	東京都	23685	4888
2	大阪府	18645	4092
3	神奈川県	17915	4042
4	福岡県	11655	2401
5	愛知県	11261	3569
6	埼玉県	9379	3362
7	北海道	8837	2457
8	兵庫県	8024	2682
9	千葉県	5501	2769
10	広島県	5182	1365
11	静岡県	3815	1795
12	京都府	2908	1142
13	鹿児島県	2875	850
14	福島県	2756	1054
15	沖縄県	2682	852
16	三重県	2564	917
17	岐阜県	2476	1060
18	宮城県	2441	1101
19	奈良県	2111	681
20	滋賀県	2075	710
21	岡山県	1991	930
22	群馬県	1841	997
23	大分県	1612	562
24	山口県	1498	672
25	熊本県	1490	899
26	長崎県	1485	738
27	岩手県	1415	662
28	茨城県	1411	1436
29	栃木県	1404	962
30	宮崎県	1372	592
31	長野県	1369	1078
32	新潟県	1317	1134
33	愛媛県	1291	685
34	山梨県	1283	453
35	高知県	1258	356
36	青森県	1254	707
37	和歌山県	933	499
38	香川県	849	462
39	石川県	838	560
40	徳島県	744	371
41	山形県	720	573
42	佐賀県	711	459
43	島根県	572	346
44	秋田県	519	505
45	富山県	480	508
46	鳥取県	454	283
47	福井県	373	414
	全国	177271	59631



6

表IV-1. 2008年度 第4期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2009年3月31日現在、最終評価

2009年7月31日回収時点

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2008年度  
第4期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	山形県	12611	11576	14	15	91.9	91.9
2	福井県	8683	7904	7	10	91.1	91.1
3	佐賀県	9981	8962	21	17	90.0	90.0
4	岩手県	14,464	12,978	8	13	89.8	89.8
5	新潟県	24600	22020	50	28	89.7	89.6
6	島根県	7727	6850	10	11	88.8	88.8
7	富山県	10266	9093	10	20	88.7	88.8
8	石川県	11587	10015	18	24	86.6	86.6
9	長野県	21944	18902	81	77	86.5	86.5
10	鳥取県	6606	5700	7	13	86.4	86.5
11	秋田県	10700	9223	15	28	86.3	86.5
12	青森県	14798	12542	18	25	84.9	84.9
13	長崎県	16256	13714	46	20	84.6	84.5
14	熊本県	19364	16261	38	24	84.2	84.1
15	山口県	13931	11587	29	42	83.4	83.5
	鹿児島県	18837	15697	4	8	83.4	83.4
17	群馬県	19848	16377	67	30	82.8	82.7
18	和歌山県	10813	8920	17	10	82.7	82.6
19	岐阜県	21610	17803	13	29	82.4	82.5
	栃木県	20184	16603	21	27	82.4	82.4
21	愛媛県	14840	12139	81	68	82.3	82.3
22	静岡県	37562	30773	77	48	82.1	82.1
	三重県	18983	15571	17	21	82.1	82.1
24	宮崎県	12405	10067	30	21	81.4	81.3
25	愛知県	69351	56224	75	100	81.2	81.2
26	福島県	22784	18446	25	46	81.1	81.2
27	香川県	9829	7886	14	28	80.4	80.5
28	茨城県	30490	24467	0	0	80.2	80.2
	宮城県	23,540	18,866	10	31	80.2	80.3
30	北海道	53754	42787	148	121	79.9	79.8
31	滋賀県	14835	11753	88	51	79.8	79.6
	岡山県	19306	15248	157	104	79.8	79.5
33	大分県	11891	9354	109	59	79.6	79.2
34	京都府	23362	18473	99	71	79.5	79.4
35	徳島県	7887	6252	10	15	79.4	79.5
36	奈良県	14857	11734	30	30	79.2	79.2
37	山梨県	9355	7370	11	42	78.9	79.2
38	兵庫県	54815	42969	220	116	78.8	78.6
39	高知県	7343	5744	10	14	78.4	78.4
40	千葉県	55619	43183	113	166	77.8	77.9
41	沖縄県	17203	13214	4	6	76.8	76.8
42	埼玉県	67247	49799	142	254	74.3	74.4
43	広島県	28,557	21,032	121	49	74.1	73.8
44	福岡県	49560	36019	105	77	72.9	72.8
45	大阪府	79721	53776	526	240	68.1	67.8
46	神奈川県	78035	49329	295	285	63.6	63.6
47	東京都	96143	58166	214	355	60.7	60.9
	全国	1224084	943368	3225	2889	77.3	77.3

2008年度

# 第4期麻しん風しんワクチン接種率

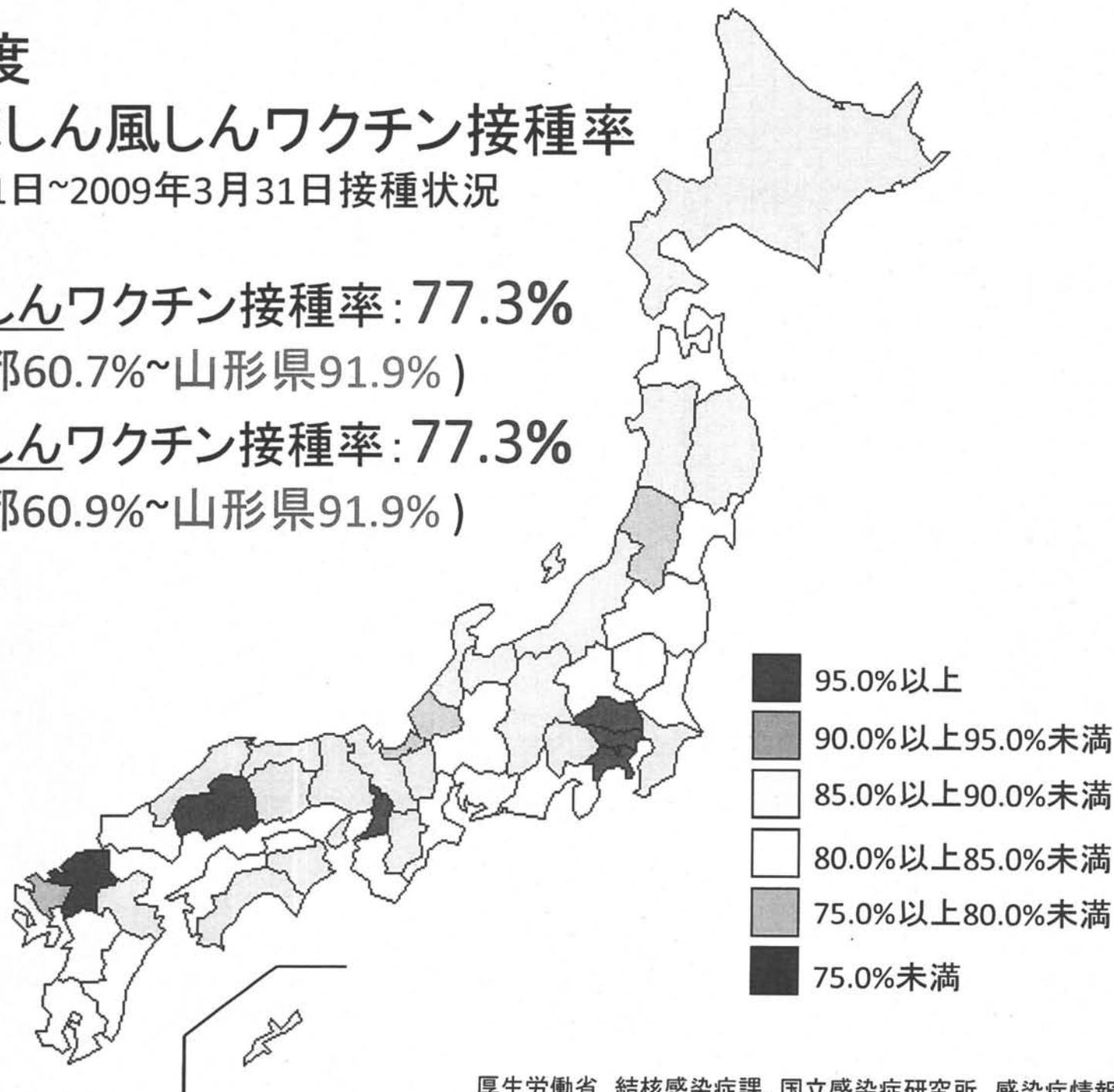
2008年4月1日~2009年3月31日接種状況

第4期 麻しんワクチン接種率:77.3%

(東京都60.7%~山形県91.9%)

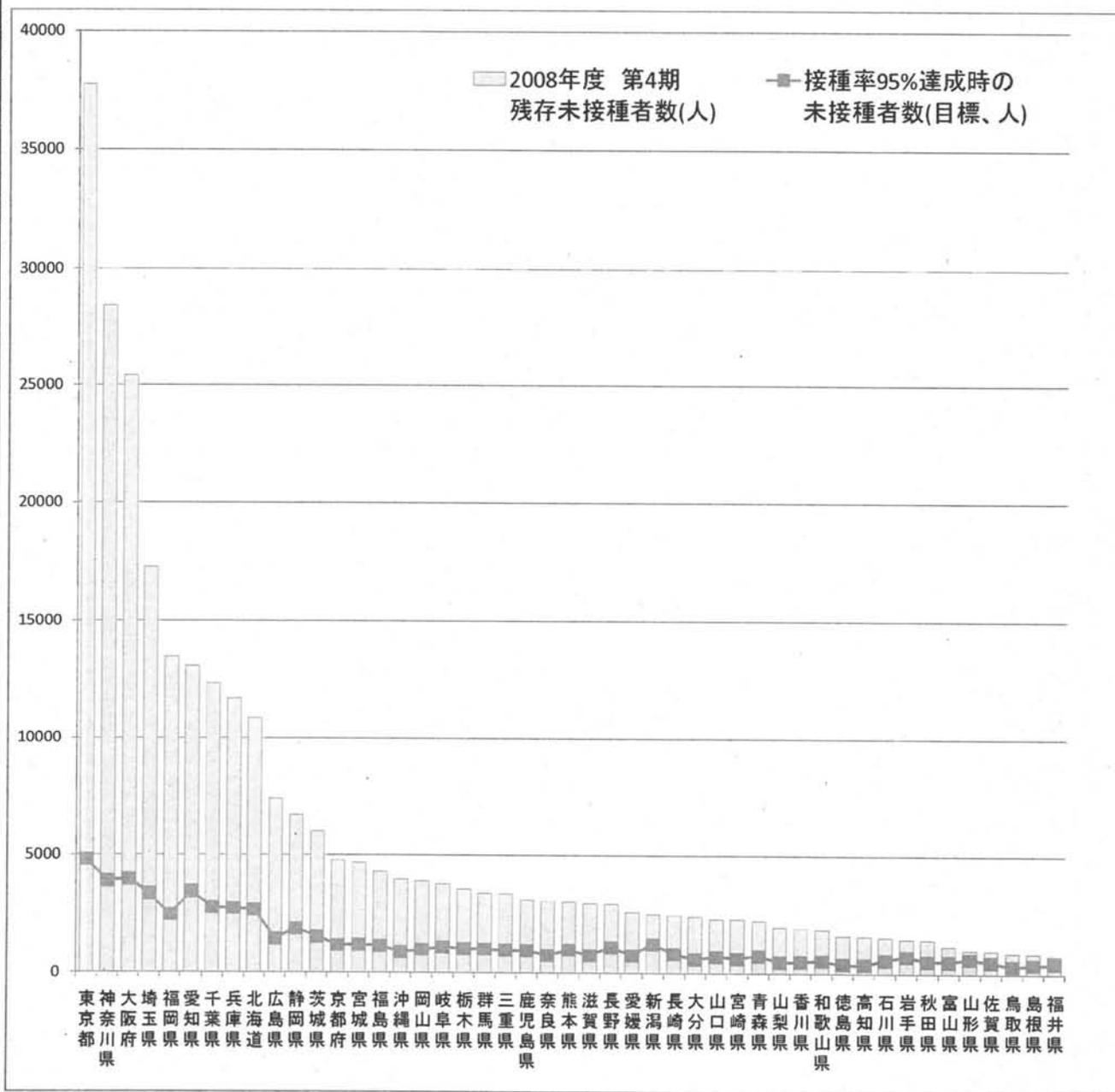
第4期 風しんワクチン接種率:77.3%

(東京都60.9%~山形県91.9%)



表IV-3. 2008年度麻疹ワクチン第4期接種対象者残存未接種者数と接種率95%達成時の未接種者数

順位	都道府県	2008年度 第4期 残存未接種者数(人)	接種率95%達成時の 未接種者数(目標、人)
1	東京都	37763	4807
2	神奈川県	28411	3902
3	大阪府	25419	3986
4	埼玉県	17306	3362
5	福岡県	13436	2478
6	愛知県	13052	3468
7	千葉県	12323	2781
8	兵庫県	11626	2741
9	北海道	10819	2688
10	広島県	7404	1428
11	静岡県	6712	1878
12	茨城県	6023	1525
13	京都府	4790	1168
14	宮城県	4664	1177
15	福島県	4313	1139
16	沖縄県	3985	860
17	岡山県	3901	965
18	岐阜県	3794	1081
19	栃木県	3560	1009
20	群馬県	3404	992
21	三重県	3395	949
22	鹿児島県	3136	942
23	奈良県	3093	743
24	熊本県	3065	968
25	滋賀県	2994	742
26	長野県	2961	1097
27	愛媛県	2620	742
28	新潟県	2530	1230
29	長崎県	2496	813
30	大分県	2428	595
31	山口県	2315	697
32	宮崎県	2308	620
33	青森県	2238	740
34	山梨県	1974	468
35	香川県	1929	491
36	和歌山県	1876	541
37	徳島県	1625	394
38	高知県	1589	367
39	石川県	1554	579
40	岩手県	1478	723
41	秋田県	1462	535
42	富山県	1163	513
43	山形県	1021	631
44	佐賀県	998	499
45	鳥取県	899	330
46	島根県	867	386
47	福井県	772	434
	全国	277491	61204



12

Measles

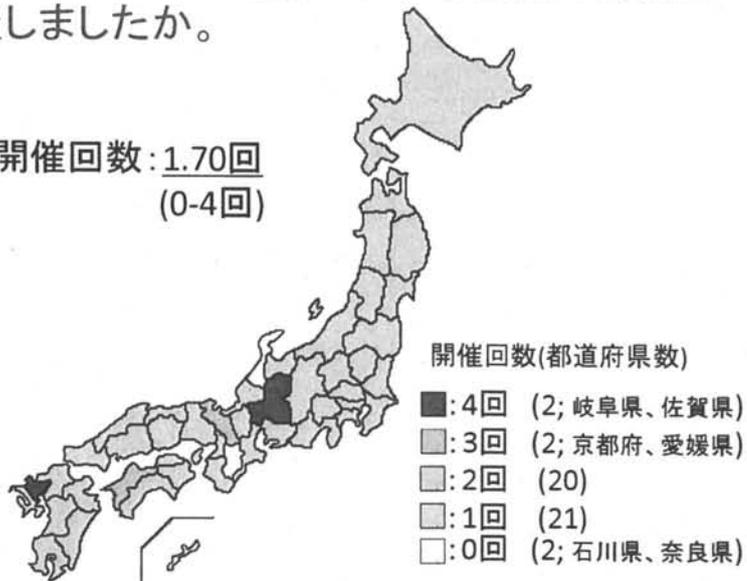
**2008年度 都道府県における  
麻疹対策取り組み状況評価  
第2回 チェックリスト集計結果**

厚生労働省健康局結核感染症課、  
国立感染症研究所感染症情報センター



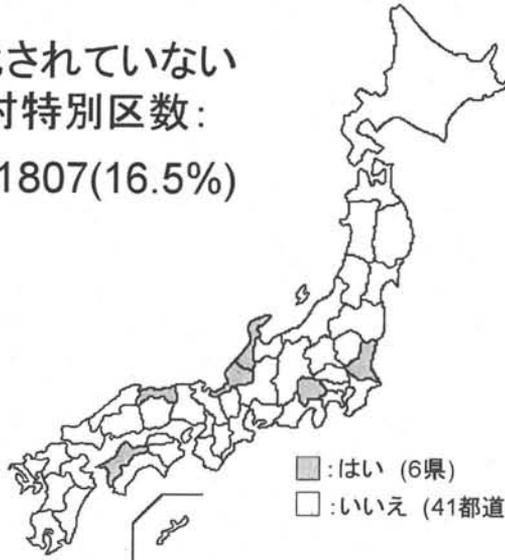
1. 昨年度、都道府県レベルの「麻しん対策の会議」、あるいは同会議に準ずる組織の会議を開催しましたか。

平均開催回数：1.70回  
(0-4回)



2. 貴都道府県内のすべての市区町村で、  
予防接種台帳が電子化されていますか。

電子化されていない  
市町村特別区数：  
298/1807(16.5%)



2. 貴都道府県内のすべての市区町村で、  
予防接種台帳が電子化されていますか。

- 3割以上の市町村特別区が電子化されていない都道府県： 宮城県：36.1%、北海道：31.7%
- 電子化されていない市町村特別区
  - 第1期から第4期の平均対象者数46.3人(2.3人新潟県粟島浦村～21316.3人大阪市)
  - 政令指定都市(9/18, 50%)： 大阪市、名古屋市、札幌市、川崎市、京都市、広島市、仙台市、北九州市、千葉市
  - 中核市(6/41, 14.6%)： 鹿児島市、大分市、尼崎市、長崎市、横須賀市、長野市
  - 特別区(8/23, 34.8%)： 世田谷区、大田区、板橋区、杉並区、品川区、新宿区、目黒区、文京区

2. 貴都道府県内のすべての市区町村の中で、第1期から第4期までの定期接種対象者の接種費用は、全額公費からの支出(被接種者の費用負担はなし)とされていますか。

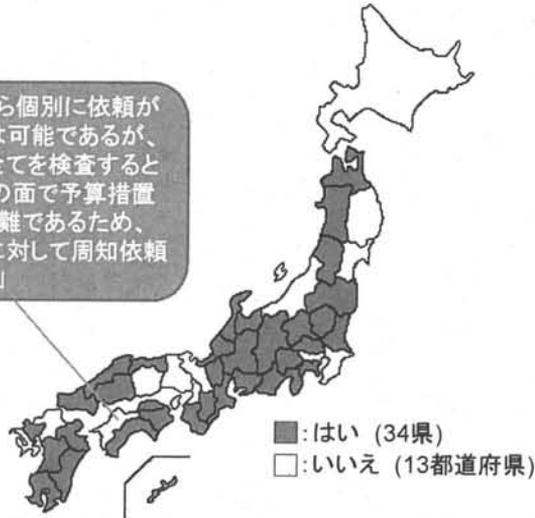


2. 貴都道府県内のすべての市区町村の中で、第1期から第4期までの定期接種対象者の接種費用は、全額公費からの支出(被接種者の費用負担はなし)とされていますか。

#	都道府県	自治体	被接種者の負担額(円)
1	北海道	砂川市 (第3期・第4期のみ)	850円(接種費の4割程度 ※市外での接種は全額自己負担)
2		江差町 (第4期のみ)	町外で実施した場合、町負担は9,309円までなので、それ以上の場合は自己負担
3		羽幌町	町内の委託医療機関以外での接種については全額自己負担
4	岩手県	山田町	町外は一部町負担(3,949円)、県外は全額個人負担(負担額は不詳)
5	秋田県	井川町 (4期の個別接種のみ)	約6,500円(集団接種を受けられなかった場合)、公費負担は一律3,000円
6	山形県	真室川町	8,900円を超える場合、その差額(町外で受けた場合)
7	栃木県	矢板市	11,500円(1期)、10,500円(2.3.4期)を超える場合、その差額
8		野木町	11,000円を超える場合、その差額
9	奈良県	高取町	10,086円(4期)、11,970円(1期) ※自己都合で集団接種を受けなかった場合
10		野迫川村	5,020円を超える場合、その差額
11	熊本県	水俣市	1,500円(1~4期一律) ※生活保護除く

3. 貴都道府県に所属する地方衛生研究所等において、麻しんが疑われた患者が発生した場合、すぐにRT-PCR法等の検査診断を実施する体制(検体の搬送から検査実施まで)は構築されていますか。

「医療機関から個別に依頼があれば対応は可能であるが、全数把握で全てを検査するとなると、費用の面で予算措置が無く対応困難であるため、全医療機関に対して周知依頼は出来ない。」



4. 2008年1月1日から12月31日までに、麻しん患者の発生に伴う積極的疫学調査が、管轄保健所を中心に実施された事例\*がありましたか。

「あった」都道府県: 45/47 (95.7%)

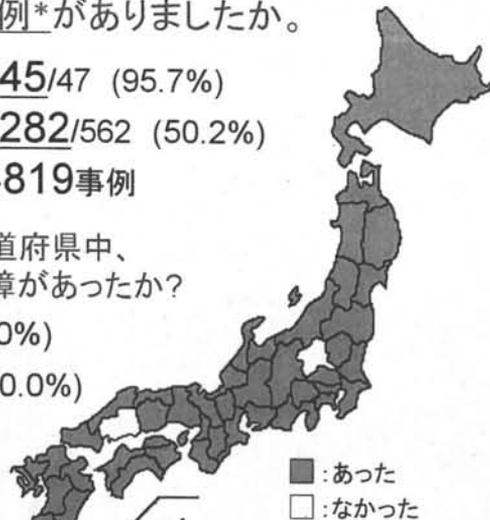
「あった」保健所数: 282/562 (50.2%)

「あった」事例\*数: 4819事例

調査があった45都道府県中、5類であることで支障があったか?

「あった」: 18 (40.0%)

「なかった」: 27 (60.0%)



\*「事例」: “outbreak”数と“症例”数が混在

4. 2008年1月1日から12月31日までに、麻しん患者の発生に伴う積極的疫学調査が、管轄保健所を中心に実施された事例\*がありましたか。

- 「あった」保健所における平均事例\*数
  - 平均17.1事例 (0熊本県御船保健所～680横須賀市保健所)
- 「あった」における「実施した」割合
  - 保健所: 281/282 (99.6%)
  - 事例\*: 2823/4819 (58.6%)
  - 「あった」保健所における「実施した」割合の分布
    - 平均値: 85.9%、最頻値: 100.0%
    - 範囲: 0.0%～200.0%
- データの質に疑問が残る
  - 「事例」「outbreak」「症例」の定義の理解が不十分
  - Outbreakを数でとらえる概念が浸透していない可能性あり



\*「事例」: “outbreak”数と“症例”数が混在

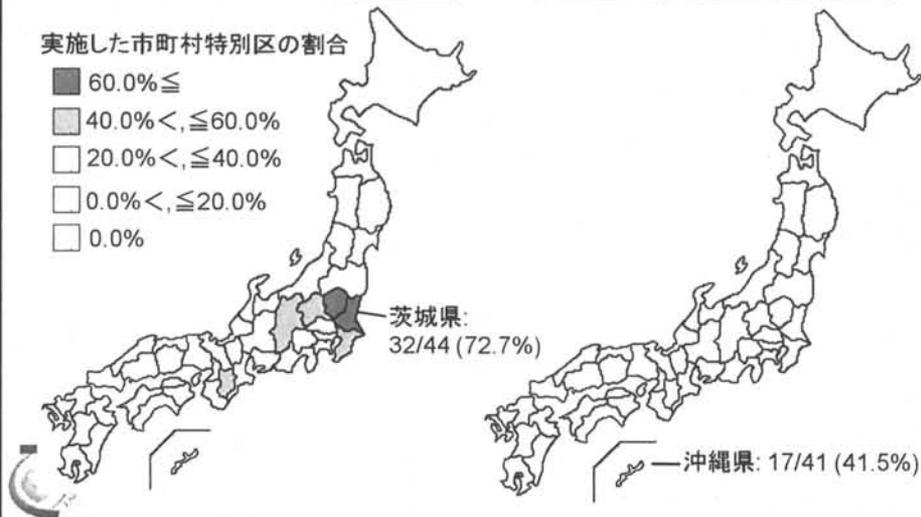
5. 第3期と第4期で「集団の場」を用いた接種を行った市区町村の数(割合)

第3期: 438/1807 (24.2%)

第4期: 170/1807 (9.4%)

実施した市町村特別区の割合

- 60.0% ≤
- 40.0% <, ≤ 60.0%
- 20.0% <, ≤ 40.0%
- 0.0% <, ≤ 20.0%
- 0.0%



## 地方衛生研究所における 検査体制



国立感染症研究所  
ウイルス第3部第1室  
駒瀬勝啓

H21.9.9 麻しん対策推進会議

### 麻しん排除の定義(WPRO)

- 適切なサーベイランスのもとで、常在性のウイルスによる麻しん症例が12ヶ月間以上ないこと

#### 要件

1. 麻しん発生率 年間人口百万人あたり1人未満
2. 流行の規模 10人未満の流行が80%以上
3. 麻しんウイルス 常在性ウイルスによる流行がない
4. ワクチン接種率 2回接種ともに95%以上  
(人口の95%以上が免疫を持っている)

## 適切なサーベイランス(WHO)

- 全数報告制
- WHO に認定された組織による実験室診断  
(National Control Laboratory (NCL): 感染研)
- 麻しんIgM抗体測定 (ELISA法)による診断

## Indicator to Monitor progress towards Measles elimination (WPRO)

- Measles incidence <math><1/1,000,000</math>
- High quality surveillance
 

国家全体のレポートで 麻しん疑い例の報告	$\geq 2/100,000$
地区報告: 麻しん疑い例の報告 $>1/100,000$	$\geq 80\%$
疑い例届出後、48時間以内に適切な情報の報告	$\geq 80\%$
疑い例のうち適切に血液サンプルを採取したもの	$\geq 80\%$
7日以内にラボ診断の結果がでたもの	$\geq 80\%$
outbreaks 時にウイルス分離のための適切な 検体の採取	$\geq 80\%$
- High population Immunity
 

1回、2回目ワクチン接種率	$\geq 95\%$
outbreak 時の患者数 $< 10$ 例	$\geq 80\%$
その土地固有のウイルス	No virus

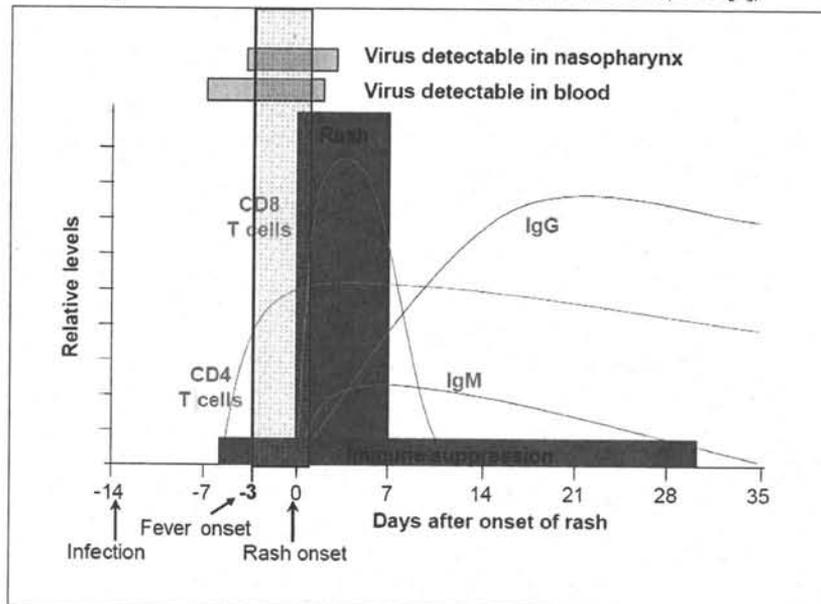
## 日本の麻疹診断の現状

- 臨床診断が多い(~40%)
- 検査診断のほとんどが検査センターによる  
(NCLによる精度管理を受けていない)
- 検査方法は抗体検査(IgM 値測定)

## IgM ELISA法による診断の問題点

- 発熱~発疹出現直後では麻疹IgM抗体が十分に上昇していない事がある
- パルボVB19,HHV6等の発疹性疾患の原因ウイルス感染者の検体でも陽性(判定保留)となることがある
- IgM 測定用検体である血清はウイルスの遺伝子型を同定するための検体としては不適當
- 結果がでるまでに時間がかかることがある

Figure 3. Immune responses in acute measles infection (after [7])



## IgM ELISA法による診断の問題点

- 発熱～発疹出現直後では麻疹IgM抗体が十分に上昇していない事がある
- パルボVB19, HHV6等の発疹性疾患の原因ウイルス感染者の検体でも陽性(判定保留)となることがある
- IgM 測定用検体である血清はウイルスの遺伝子型を同定するための検体としては不適當
- 結果がでるまでに時間がかかることがある

## 地方衛生研究所による麻疹検査体制

正確性、迅速性、ウイルスのトレース(ゲノム解析)

- RT-PCR 法又は遺伝子定量法(real time PCR法)による診断

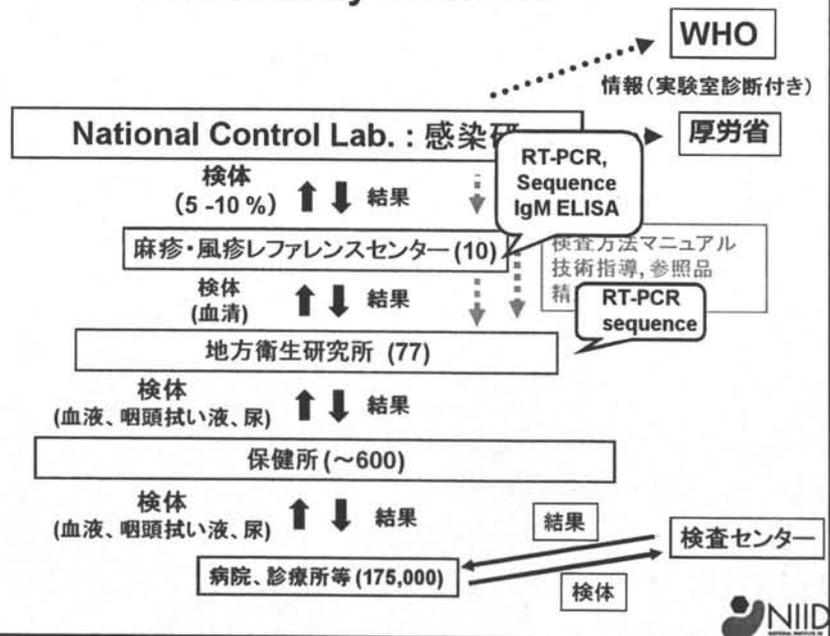
NCLによる精度管理

- 共通の診断方法(病原体検出マニュアル)
- レファレンスRNA の配布
- 麻疹・風疹レファレンスセンターの設置(全国10カ所)

IgM ELISAの実施

- 麻疹・風疹レファレンスセンターで実施

## Laboratory Network





## 現状の問題点

- 検査診断を必要としないとする現場の認識
- 保健所を中心とした検体輸送体制
- 地方衛生研究所の許容量
- 感染研の許容量
- ウイルス遺伝子情報の集約

# 自治体の取り組み例

-第2、3回 麻疹対策推進会議より-

自治体	接種率(%)		接種方法		個別 通知	広報	
	I期	II期	個別	集団		新聞、 FM包装 やチラシ 等	その他
	III期	IV期					
新潟市	96.5 91.2	95.6 87.4	○		○	○	・就学時、乳幼児健診
茨城県	91.7 95.1	93.9 80.2	○	○	○	○	・就学時、乳幼児健診 ・シンポジウム開催
福井県	97.0 95.5	96.0 91.1	○	○	○	○	・就学時健診、DM ・学校での教育
神奈川県	93.6 77.8	90.1 63.6	○		○	○	・学校での罹患歴・接 種歴調査と啓蒙教育
横浜市	95.3 73.8	89.1 59.4	○		○	○	・学校での接種調査 ・スタジアムや電車 内の広告 ・1歳～18歳まで 公費等
大阪府	94.1 77.2	88.8 68.1	○	○	○	○	・個人リーフレット ・無料のアピール

平成 21 年 9 月 9 日 第 4 回麻しん対策推進会議

## 平成 20 年度 MR4 期接種率向上に向けた山形県の取り組み

山形県麻しん対策会議委員長（村山保健所長） 山口一郎

4 期接種対象者 12,601 名

（うち県立高校在籍者 6,979 名、私立高校在籍者 3,300 名）

### 1 接種率の軌跡

	全県接種率	全国順位	首位との差	35 市町村別接種率
6 月末	44.8%	4	-4.2%	13.4~89.1%
9 月末	65.7%	3	-7.3%	48.7~97.8%
12 月末	78.1%	3	-3.3%	69.6~97.8%
年度末	91.9%	1		87.8~98.4%
				95%以上達成：13 自治体

### 2 山形県健康福祉部の対応

- ・ 第一回麻しん対策会議（8 月 8 日）、第二回麻しん対策会議（2 月 18 日）  
委員構成：医師会 2、自治体 2、養護教諭 4、教育庁 4、児童家庭課 1、衛生研究所 1、小生協議事項：全国の麻しん発生状況、県内各市町村の予防接種状況、学校の取組状況、市町村の取組状況、その他
- ・ 6 月末、9 月末、12 月末接種率調査結果を速やかに教育庁及び市町村にフィードバック（8 月 6 日、12 月 3 日、2 月 16 日）

### 3 山形県教育庁の対応

- ・ 県立高校への情報提供は、スポーツ保健課より行い、「学校における麻しん対策ガイドライン」に示された調査時点（6 月末・9 月末・11 月末）の接種率について県立高校対象にアンケート調査を行って集計結果をフィードバック。各校が主体的に勧奨を行える環境作りの支援に留めて個別の助言等は実施せず。
- ・ 私立高校には県立高校と平行して教育やまがた振興課より情報提供。アンケート等は実施せず。

### 4 市町村の対応・経験（一部市町村の格別な取り組み）

- ・ 広報誌による複数回の接種勧奨：全市町村
- ・ 未接種者の把握：全市町村で接種後 2 カ月以内
- ・ 未接種者への複数回の接種勧奨文書郵送：大半の市町村（2・3 月に電話で勧奨）
- ・ 高等学校との連携は僅か、一部市町村でちらし配布依頼や養護教諭への情報提供等
- ・ 広域化制度－32 市町村参加－の利用者は僅か、特別支援学校等では歓迎
- ・ 予想外の照会：予診票をなくしてしまった（最終の接種勧奨文書に同封）

## 5 高等学校の対応・経験：『養護教諭がキーパーソン』

- ・養護教諭は、会議や研修会等で定期的に顔を合す他、ML等でも日ごろ密に情報交換している。県立と私立の垣根はない。
- ・19年度の麻しん罹患・ワクチン接種歴調査にはブーイングもあったが、その後の展開から意義が理解されて、協議の上20年度から当該項目を入学時保健調査に追加した。最早ワクチン事業に後ろ向きな養護教諭はいない。
- ・ガイドラインに沿って定期的に接種状況を把握し、学年集会等の機会を利用して職員・生徒全体で情報共有し、保護者にも複数回情報提供した。
- ・校長～担任の理解協力は良好。三者面談で未接種家庭に勧奨した担任もいた（大学等への進学手続きで麻しんについて確認があるとの認識が浸透）。
- ・年明けから個別面談で勧奨。未接種理由の大半は「面倒臭い、注射嫌い」で、接種対象だと本人が知らなかった訳ではない。改めてワクチン接種の大切さや卒業後有料になることを説明すると意外に素直に納得する。
- ・市町村の接種勧奨と学校の勧奨との相乗効果で、対象家庭に強くアピールしたに違いない。

## 6 その他の動き

- ・保健所長会経由で地区医師会へ接種状況を逐次情報提供  
→地区医師会から市町村に圧力  
→地区医師会あるいは学校医から学校長に圧力
- ・保健所が成績が芳しくない市町村をプッシュ（1～3期中心）
- ・海外修学旅行（県立10校、私立11校、2年生対象）に際して、生徒が自費でワクチン接種した学校が多い模様。3年生になったこの生徒たちを今年度のMR接種対象に含めるかどうか、現場では頭の痛い課題。

エピローグ：結局どうしてトップになったのか、地元の下馬評は

- ・県民性ではないだろうか。

麻疹対策推進会議  
平成21年9月9日

## 倉敷市および岡山県における MRワクチン接種率向上への取り組み

川崎医科大学小児科  
寺田喜平

## 倉敷市から麻疹および風疹を なくすにはどうしたらよいか

平成13年(2001年)倉敷小児科医会で予防接種WG

- 1) 接種率を約95%以上にするには？
- 2) 接種率を一過性ではなく、高く維持するには？

**動機付けや接種を促すシステムが必要**

## 動機付けや接種勧奨のシステム

平成11年度の岡山県内小学校の統計

寄生虫虫卵検査陽性者における治療率; 95.5%

この理由は検査陽性者は治療証明書の提出

→ 接種証明書を求める

### 倉敷市での取り組み

#### 「入学後の調査、勧奨、接種証明書」

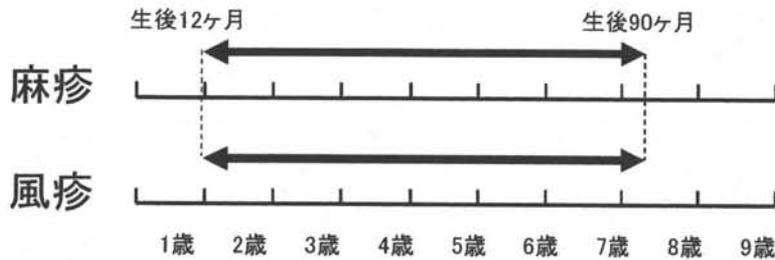
倉敷小児科専門医会、倉敷連合医師会、教育委員会

平成14年(2002年)度から5年間

- 1) 幼稚園、小学校、中学校の入学後に、麻疹と風疹の既往歴と接種歴アンケートを実施
- 2) 感受性者に対し接種証明書の提出を要求
- 3) 接種証明書は無料化

(寺田ら, 日本小児科学会雑誌 112: 458, 2008)

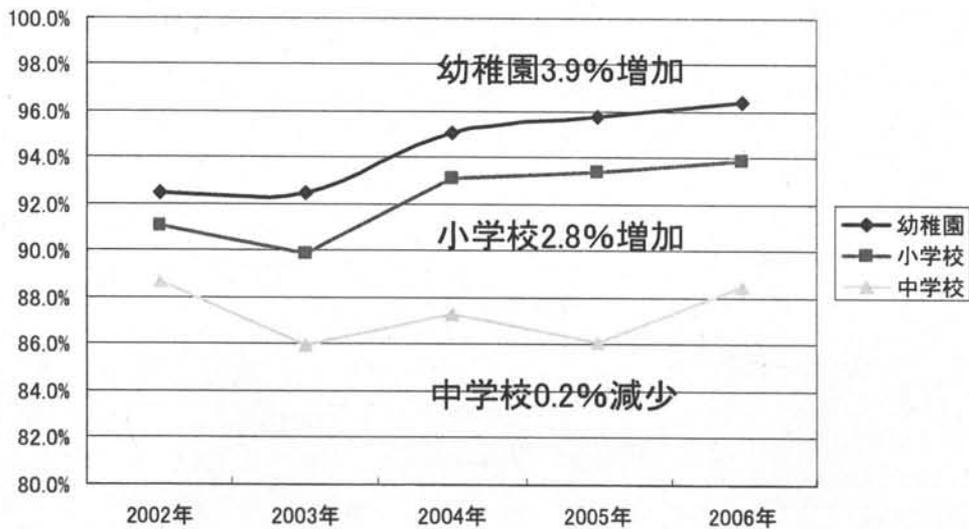
## 2006年4月まで 麻疹および風疹ワクチンの接種対象者



- 1) 幼稚園と小学校入学時は定期接種で無料。  
中学校入学時は定期接種ではないが、少しでも勧奨をしよう
- 2) 1歳のお誕生日にMRワクチンをキャンペーン

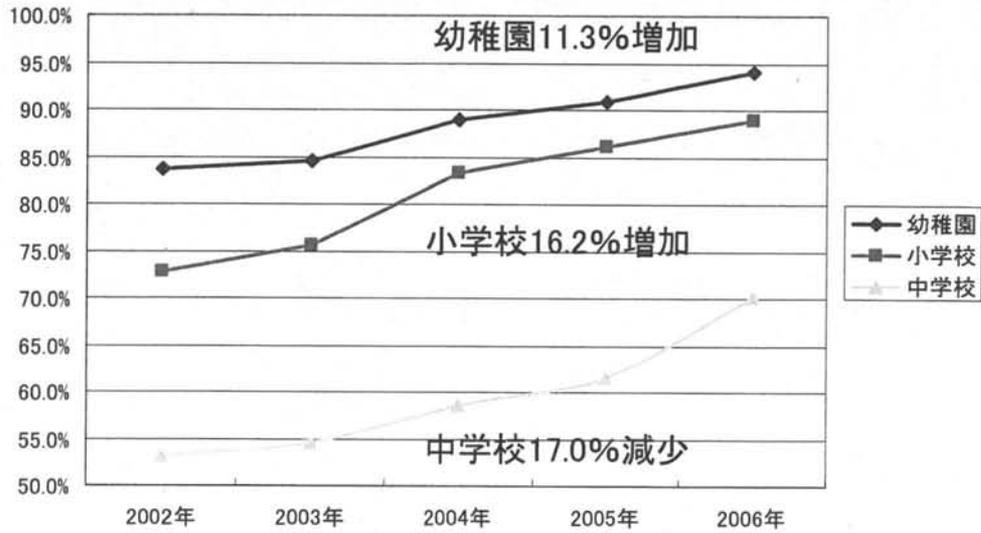


## 麻疹の「既接種者+既感染者」の率



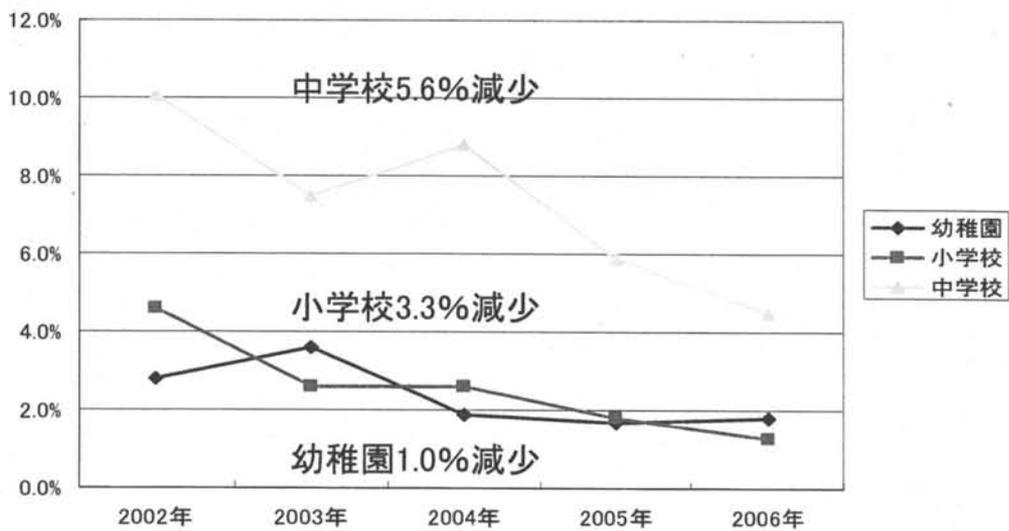
(寺田ら, 日本小児科学会雑誌 112:458, 2008)

## 風疹の「既接種者+既感染者」の率



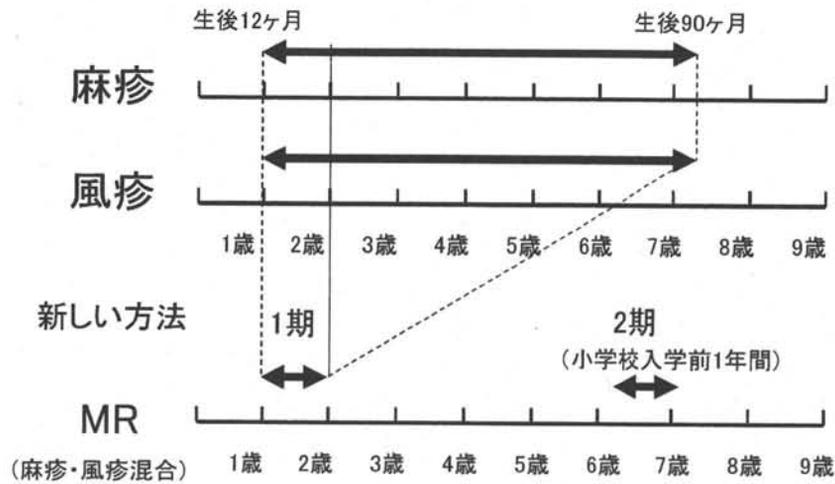
(寺田ら, 日本小児科学会雑誌 112:458, 2008)

## 麻疹の不明率



(寺田ら, 日本小児科学会雑誌 112:458, 2008)

## 平成18年(2006年)から MRワクチン接種への変更



## 平成19年(2007年)より

- 1) 幼稚園と中学校の接種証明書は中止
- 2) 小学校の就学時健診時に接種歴を  
厳重チェック(接種年月日を記載)
- 3) 就学時健診時と体験入学時に2回接種  
をしていない保護者に接種証明書



## 平成20年(2008年)から変更

- 1)岡山県小児科医会と県医師会が全県で倉敷方式で実施するように提言、県と教育委員会の協力のもとで実施
- 2)2期だけではなく、3期と4期の対象者にも接種証明書を送付して回収

## 倉敷市から岡山県全体へ拡大

2期(昨年39位→本年13位)

3期(23位)

4期(31位)

## まとめ

- 1)2002年からの調査と接種証明書は接種動機付けに効果的で、麻疹や風疹の接種者を増加、不明を減少させた。
- 2)2007年から小学校就学時健診時と体験入学時の2回、接種証明書の提出を求め、接種率向上に効果を上げた。
- 3)2008年から2期、3期、4期について、全県的に接種証明書が利用されるようになった。